



ケアきょうオリジナル 2025年 介護福祉士国家試験

全問題を 徹底解説！

受験者応援！
非公開求人のご案内

ケアきょうではハローワーク非公開の
プレミアム求人を厳選して紹介します



↓ はこちらから無料登録！ ↓



<https://form.run/@carekyo-shiken>

- ✓ 残業ほぼ無し
- ✓ 年収430万円
- ✓ 年休125日

介護職向けYouTube・求人の相談はケアきょう！



2025年介護福祉士国家試験【解答・解説】

問1【解説】

■問題文

次の記述のうち、介護福祉職がアドボカシー(advocacy)の視点から行う対応として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

1. 介護を行う前には、利用者に十分な説明をして同意を得る。
2. 利用者の介護計画を作成するときに、他職種に専門的な助言を求める。
3. 利用者個人の趣味を生かして、レクリエーション活動を行う。
4. 希望を言い出しにくい利用者の意思をくみ取り、その実現に向けて働きかける。
5. 視覚障害者が必要とする情報を、利用しやすいようにする。

■解答&解説

答:④ 希望を言い出しにくい利用者の意思をくみ取り、その実現に向けて働きかける。

アドボカシーとは利用者の権利擁護を意味し、特に自分の意思を表明することが難しい人々の代弁者となって支援することを指します。

1. ×
記載内容は、インフォームドコンセントの原則に関する話であり、不適切
2. ×
記載内容は、チームアプローチ、他職種連携に関する話であり、不適切
3. ×
記載内容は、個別化の原則に関する話であり、不適切
4. ○
記載内容は、まさにアドボカシーに関する話であり、適切
5. ×
記載内容は、情報保障に関する話であり、不適切



問2【解説】

■問題文

Aさん(83歳、女性、要介護3)は、脳梗塞(cerebralinfarction)の後遺症で左片麻痺があり、介護老人福祉施設で生活している。家族から、「できることは自分で行ってほしい」と希望があり、Aさんは自室から食堂まで車いすで自走することを日課としている。

1週間前から、介護福祉士養成施設の学生がAさんのフロアで実習を開始した。数日前からAさんは実習生に、「今日は腕が痛いので、食堂まで車いすを押してください」と依頼するようになった。悩んだ実習生は、実習指導者に相談をした。

実習生に対する実習指導者の最初の助言として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 「Aさんの腕は痛くないので、気にしないでください」
2. 「どのようなときも、Aさん自身で行ってもらうことが必要です」
3. 「ご家族から自分で行うように、言われています」
4. 「それは自立につながらないので、車いすを押さないでください」
5. 「Aさんが依頼する理由を、まず考えてみる大切です」

■解答&解説

答:⑤「Aさんが依頼する理由を、まず考えてみる大切です」

実習指導者として、最初に行うべきことは、事象の背景や理由の理解を促すこと。Aさんが突然介助を求めるようになったのは、何か理由があるからと考えられ、介護職として対応する際には、理由を考えることが重要。実習生にも同じように理解をするように示す必要がある

1. ×
背景を理解させようとせず、決めつけて対応することは不適切
2. ×
背景を理解させようとせず、決めつけて対応することは不適切
3. ×
背景を理解させようとせず、決めつけて対応することは不適切
4. ×
背景を理解させようとせず、決めつけて対応することは不適切
5. ○
しっかりと理解しようとするように促しており、適切



問3【解説】

■問題文

人間関係と心理に関する次の記述のうち、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 自己愛とは、自分という存在を、他人と区別して意識することである。
2. 自己同一性の確立とは、自分とは何かという認識をもつことである。
3. 自我とは、日常行動に影響を与える、表面化していない意識のことである。
4. 自己覚知とは、コミュニケーションにおいて自分について話すことである。
5. 自己中心性とは、自分の意思で自分の行動をコントロールすることである。

■解答&解説

答:② 自己同一性の確立とは、自分とは何かという認識をもつことである。

1. ×
説明の内容は、自己意識に関する説明。
自己愛とは、ナルシシズムの日本語訳。自分を愛することや、自分を大切に思うこと。
2. ○
自己同一性の確立とは、青年期において、自分は誰なのかを知ることを自我同一性を確立すること。
説明の内容とも合致しており、適切。
3. ×
説明の内容が該当する用語は、無意識(潜在意識)。
自我とは、意識的な心の働きのこと。
4. ×
説明の内容が該当する用語は、自己開示。
自己覚知とは、自分がどんな人間なのかを知ること。
5. ×
説明の内容が該当する用語は、自己制御。
自己中心性とは、自分の視点のみで物事を捉え、他者の異なる見方を理解することが難しい状態のこと。



問4【解説】

■問題文

Aさん(80歳男性)は、有料老人ホームに入所することになった。一人暮らしが長かったAさんは、入所当日、担当の介護福祉職と話すことに戸惑っている様子で、なかなか自分のことを話そうとはしなかった。介護福祉職は、一方的な働きかけにならないように、Aさんとコミュニケーションをとるとき、あいづちを打ちながらAさんの発話を引き出すように心がけた。このときの、介護福祉職の対応の意図に当てはまるものとして、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 互いの自己開示
2. コミュニケーション能力の評価
3. 感覚機能の低下への配慮
4. 認知機能の改善
5. 双方向のやり取り

■解答&解説

答:⑤ 双方向のやり取り

1. ×
自己開示とは、ありのままの自分をさらけ出すこと。重要だが、今回そのような説明はない。
2. ×
コミュニケーション能力の評価を行うべきタイミングではない。
3. ×
設問中に感覚機能の低下についての説明はない。
4. ×
認知機能の改善についての設問ではない。
5. ○
入所当日、不安な状況では、利用者のペースに合わせて、双方向のコミュニケーションを行い信頼関係を構築することが重要。



問5【解説】

■問題文

次の記述のうち、介護福祉職のキャリアパスに関するものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 介護計画を作成するときのポイントを明確にする。
2. 介護福祉職の業務マニュアルを具体化する。
3. 利用サービスに応じて求められる関係書類を検討する。
4. 介護施設に必要な設備基準について確認する。
5. 介護福祉職として必要な能力や経験を明確にする。

■解答＆解説

答:⑤ 介護福祉職として必要な能力や経験を明確にする。

1. ×
キャリアパスとは関係のない記述であり、不適切
2. ×
教育という観点では重要だが、キャリアパスとは関係のない記述であり、不適切
3. ×
キャリアパスとは関係のない記述であり、不適切
4. ×
キャリアパスとは関係のない記述であり、不適切
5. ○
キャリアパスは職員の成長過程を示すためのものであり、適切。
各段階で必要な能力や経験、資質を明確にすることが重要。



問6【解説】

■問題文

B介護老人福祉施設に、学校を卒業したばかりの元気なC介護福祉職が加わった。2か月後、ユニットリーダーが、「最近、C介護福祉職に笑顔が少ない。いつもとちがう様子だ」と、フォロワーであるD介護福祉職に話した。D介護福祉職はチームの一員として何ができるのかを考えた。

D介護福祉職が最初に行うフォロワーシップとして、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. C介護福祉職に対して、元気を出すように励ます。
2. ユニットリーダーが気になっていることを詳しく聞く。
3. C介護福祉職の状況をユニット内のほかのメンバーと速やかに共有する。
4. 施設長に対して、何か指示を出すようにお願いする。
5. C介護福祉職に対して、介助方法について教える。

■解答&解説

答:② ユニットリーダーが気になっていることを詳しく聞く。

1. ×
原因などを把握せずに励ましても効果的でなく、不適切。
2. ○
フォロワーシップとは、「自律的かつ主体的にリーダーや他メンバーに働きかけ支援すること」。まずはリーダーが気になっている情報を把握することで、支援方法を検討できる。
3. ×
フォロワーとはリーダーを補佐する役割の人のこと。
メンバーに共有することも重要だが、それよりも先に、情報を把握することが最初に行うべきことであるため、不適切。
4. ×
組織の階層を無視した直談判となっている。原則的には、施設長にはユニットリーダーの判断で相談する必要がある、不適切。
5. ×
介助方法について悩んでいると特定できているわけではなく、不適切。



問7【解説】

■問題文

社会福祉法に基づく社会福祉法人に関する次の記述のうち、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 収益事業は禁止されている。
2. 所轄庁は内閣府である。
3. 設立時に所轄庁の認可は不要である。
4. 評議員会を置く必要がある。
5. 解散は禁止されている。

■解答&解説

答:④ 評議員会を置く必要がある。

1. ×
公益事業に支障がない限りは、収益事業は禁止されていない。不適切。
2. ×
原則として法人の主たる事務所が所在する都道府県。
法人が行う事業が法人の主たる事務所の所在する市の区域を越えない場合は当該市となる。よって、不適切。
3. ×
所轄庁の認可は必要であり、不適切。
4. ○
設置する必要があると定められている。
5. ×
解散は可能。法定の事由によって行われる。よって不適切。



問8【解説】

■問題文

次の記述のうち、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の説明として、正しいものを1つ選びなさい。

1. 利用定員は、9人以下と定められている。
2. 日中・夜間を通じて、提供するサービスである。
3. 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）に入居する利用者に対して、機能訓練を行うサービスである。
4. 通い、泊まり、看護の3種類の組合せによるサービスである。
5. 都道府県が事業者の指定、指導、監督を行うサービスである。

■解答＆解説

答:② 日中・夜間を通じて、提供するサービスである。

1. ×
特に定めはない。不適切。
2. ○
説明の通りであり適切。定期巡回・随時対応型訪問介護看護の特徴としては、24時間365時間のサービス提供がある。
3. ×
訪問介護員または訪問看護師が要介護者の自宅を定期訪問するサービス。グループホーム向けのもの、とはなっておらず不適切。
4. ×
説明は、小規模多機能型居宅介護に対するもの。
定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、要介護者の自宅に訪問するサービスであり、不適切。
5. ×
市町村が指定するサービスであり、不適切。



問9【解説】

■問題文

Aさん(48歳、会社員)は、うつ症状から体調不良が続き、仕事を休むことが増えたため、自主的に退職した。その後、体調は回復したが、再就職先がなかなか見つからなかった。しばらく貯金で生活していたが、数か月後、生活を営むことができなくなってしまった。頼れる親族はなく、生活保護を受給することにした。

この事例において、日本国憲法に基づいてAさんに保障された権利として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

1. 団体交渉権
2. 平等権
3. 財産権
4. 思想の自由
5. 生存権

■解答&解説

答:⑤ 生存権

1. ×
団体交渉権とは、労働者が使用者と労働条件について交渉する権利であり、不適切
2. ×
平等権とは、法の下での平等を示すため、不適切。
3. ×
財産権とは、財産の所有や使用、処分の自由を保障するもの。不適切。
4. ×
思想の自由とは、信条や思想についての自由を保障するもの。不適切。
5. ○
「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定されている。Aさんの事例は、健康で文化的な最低限度の生活を維持できなくなった状況であり、生存権の保障が該当する。



問10【解説】

■問題文

次の記述のうち、保健所に関するものとして、正しいものを1つ選びなさい。

1. 保健師助産師看護師法に基づいて設置されている。
2. すべての市町村に設置の義務がある。
3. 業務には精神保健に関する事項が含まれている。
4. 歯科衛生士を置かなくてはならない。
5. 児童の一時保護を行う。

■解答&解説

答:③ 業務には精神保健に関する事項が含まれている。

1. ×
保健所は、地域保健法に基づいて設置される。不適切
2. ×
地域保健法に基づいて、都道府県、指定都市、中核市、特別区などに設置される。
また、現状すべての市町村に設置されているわけではない。よって不適切。
3. ○
正しい。精神保健に関する事項も定められている。
4. ×
必ず置かなくてはいけない、という規定はない。不適切。
5. ×
児童の一時的保護を行うのは、児童相談所の業務。



問11【解説】

■問題文

地域包括支援センターの業務に関する記述として、正しいものを1つ選びなさい。

1. 地域ケア会議の開催
2. 施設サービスのケアプランの作成
3. 成年後見制度の申請
4. 介護認定審査会の設置
5. 地域密着型サービスの事業者の指導・監督

■解答&解説

答:① 地域ケア会議の開催

1. ○
地域ケア会議の開催は地域包括支援センターの主要業務であり、適切。
2. ×
ケアプランの作成は行うが、在宅サービスのケアプラン。不適切。。。施設サービスのケアプランは、介護保険施設の介護支援専門員が作成する
3. ×
申請の支援は行うが、申請自体は本人等が行うので、不適切。
4. ×
市町村の業務であり、不適切。
5. ×
市町村の業務であり、不適切。



問12【解説】

■問題文

Bさん(85歳、男性、要支援1)は、自宅で一人暮らしをしている。最近、物忘れが多くなり、1か月前から地域支援事業の訪問型サービスを利用するようになった。ある日、Bさんが「これからは自宅で生活したいが、日中、話し相手がいなくて寂しい」と介護福祉職に話した。次のうち、Bさんに介護福祉職が勧めるサービスとして、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)
2. 介護老人福祉施設
3. 第一号通所事業(通所型サービス)
4. 夜間対応型訪問介護
5. 居宅療養管理指導

■解答&解説

答:③ 第一号通所事業(通所型サービス)

1. ×
Bさんは認知症ではないため、不適切。
2. ×
原則として、要介護3以上の方が対象の施設であり、不適切
3. ○
Bさんは要支援1であり、在宅生活は継続できる状況。
日中の居場所、交流の機会を提供できるため、こちらの選択肢が適切。
4. ×
日中ではなく、夜間のサービスであり不適切。
5. ×
交流を求めていることに適していない。



問13【解説】

■問題文

介護保険制度に関する記述として、正しいものを1つ選びなさい。

1. 第1号被保険者の保険料は、都道府県が徴収する。
2. 第1号被保険者の保険料は、全国一律である。
3. 第2号被保険者の保険料は、年金保険の保険料と合わせて徴収される。
4. 財源には、第1号被保険者の保険料と第2号被保険者の保険料が含まれる。
5. 介護保険サービスの利用者負担割合は、一律1割である。

■解答&解説

答:④ 財源には、第1号被保険者の保険料と第2号被保険者の保険料が含まれる。

1. ×
市町村が徴収します。
2. ×
人口数などをもとに市町村ごとに計算するため異なる。不適切。
3. ×
医療保険の給付に充てられる保険料と一体的に徴収している。不適切
4. ○
公費のほかに、第1号被保険者・第2号被保険者からの保険料も含まれている。そのため適切
5. ×
所得によって異なる。不適切。



問14【解説】

■問題文

障害者の雇用の促進等に関する法律に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 2024年度(令和6年度)の民間企業の法定雇用率は、2.5%である。
2. 精神障害者は、法定雇用率の対象から除外されている。
3. 2024年度(令和6年度)に、障害者の雇用義務が生じるのは、従業員101人以上の事業主である。
4. 週所定労働時間が10時間以上20時間未満の労働は認められていない。
5. 2024年度(令和6年度)の事業主支援(助成金)は、2023年度(令和5年度)以前と同じである。

■解答&解説

答:① 2024年度(令和6年度)の民間企業の法定雇用率は、2.5%である。

1. ○
2024年4月時点の民間企業における法定雇用率は2.5%であり、適切。
2. ×
精神障害者も法定雇用率の対象に含まれています。
3. ×
雇用義務が生じるのは、従業員40人以上の事業主であり、不適切。
4. ×
週20時間以内の短時間労働も認められています。
5. ×
2024年より、「障害者雇用相談援助助成金」が始まっており、不適切。



問15【解説】

■問題文

「障害者総合支援法」のサービスに関する次の記述のうち、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 介護給付費の支給を受けるときに、障害支援区分の認定は不要である。
2. 短期入所は介護給付の1つである。
3. 地域生活支援事業は、国が実施主体である。
4. 自立支援給付は応益負担である。
5. 行動援護は訓練等給付の1つである。

■解答&解説

答:② 短期入所は介護給付の 1つである。

1. ×
介護給付の際には、障害支援区分の認定は必要であり、不適切。
2. ○
記載の通りであり、適切。
3. ×
実施主体は、市町村であり、不適切。
4. ×
自立支援給付は、応能負担であり、不適切。
5. ×
行動援護は、介護給付であり、不適切。



問16【解説】

■問題文

障害児支援に関する次の記述のうち、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. サービスを受けるには、療育手帳の取得が必要である。
2. 放課後等デイサービスは、子ども・子育て支援法に基づく支援である。
3. 障害児通所支援の利用には、障害児支援利用計画の作成は不要である。
4. 障害児入所支援は、すべての市町村が実施主体である。
5. 保育所等訪問支援は、保育所等を訪問し、障害のある児童が集団生活に適応できるように専門的な支援を行う。

■解答&解説

答:⑤ 保育所等訪問支援は、保育所等を訪問し、障害のある児童が集団生活に適応できるように専門的な支援を行う。

1. ×
受給者証が必要であり、不適切。
2. ×
児童福祉法に基づいている。よって不適切。
3. ×
障害児支援利用計画の作成は必要です。よって不適切。
4. ×
障害児入所施設は都道府県が、障害児通所施設は市区町村が実施主体。
よって、不適切。
5. ○
記載の通りであり、適切。



問17【解説】

■問題文

次の記述のうち、サービス付き高齢者向け住宅に関するものとして、正しいものを1つ選びなさい。

1. 「高齢者住まい法」に基づく、高齢者のための住まいである。
2. 65歳以上の者が、市町村の措置によって入居する。
3. 認知症高齢者を対象とした、共同生活の住居である。
4. 食事サービスの提供が義務づけられている。
5. 介護サービスの提供が義務づけられている。

■解答&解説

答:①「高齢者住まい法」に基づく、高齢者のための住まいである。

1. ○
適切な説明である。
2. ×
措置による入居ではなく、自らの契約によって入居するので、不適切。
3. ×
説明の内容は、グループホーム（認知症対応型共同生活介護）であり、不適切。
4. ×
食事サービスの提供は必須ではない。よって不適切。
5. ×
介護サービスの提供は必須ではない。よって不適切。



問18【解説】

■問題文

Cさん(60歳、男性)は、休日に自宅で趣味の家庭菜園の作業中に脳出血(cerebral hemorrhage)を起こして救急搬送された。特に麻痺はなく、その後リハビリテーション病院に転院した。現在は、高次脳機能障害(higher brain dysfunction)の治療とリハビリテーションに専念している。

医療費を支払うときにCさんが利用する制度として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 介護保険制度
2. 労働者災害補償保険制度
3. 雇用保険制度
4. 医療保険制度
5. 年金制度

■解答&解説

答:④ 医療保険制度

1. ×
介護保険制度を活用する場合、脳出血は特定疾病に当てはまることも在るが(外傷が原因でない場合)医療費の支払いについては関係がない。よって不適切。
2. ×
業務時間外であり、業務場所での事故でもないので、不適切。
3. ×
雇用保険は、失業等給付が主目的。傷病手当金などはもらえる可能性はあるが、医療費の支払いとは別の問題であり、不適切。
4. ○
医療費の支払いには、医療保険が適用される。よって適切。
5. ×
障害年金の支払いの対象になる可能性はあるが、医療費の支払いには関係がない。よって不適切。



問19【解説】

■問題文

次のうち、恐怖や不安、喜びなどの情動に関わる脳の機能局在の部位として、正しいものを1つ選びなさい。

1. 扁桃体
2. 小脳
3. 下垂体
4. 海馬
5. 視床下部

■解答&解説

答:① 扁桃体

1. ○
扁桃体は、情動の処理に深く関与する脳の部位です。特に「恐怖」や「不安」といった感情の調整に重要な役割を果たしています。また、情動記憶の形成にも関わっています。
2. ×
主に運動機能の制御に関わっており、平衡感覚や協調運動などを司ります。
3. ×
下垂体はホルモン分泌を制御する内分泌器官です。
4. ×
海馬は記憶の形成や空間認知に重要な役割を果たす部位であり、情動記憶にも関与します。
5. ×
視床下部は体温調節、摂食、睡眠、内分泌調整などの生理的機能を統括する部位です。



問20【解説】

■問題文

次のうち、顔の感覚に関与する脳神経として、正しいものを1つ選びなさい。

1. 嗅神経
2. 三叉神経
3. 顔面神経
4. 迷走神経
5. 舌下神経

■解答&解説

答:② 三叉神経

1. ×
嗅神経は第1脳神経であり、においを感じる感覚を司る神経です。
2. ○
三叉神経は第5脳神経であり、顔の触覚、痛覚、温度感覚などを司る主な神経です。
3. ×
顔面神経は第7脳神経で、顔の表情を作る運動機能に関与します。
4. ×
迷走神経は第10脳神経で、主に内臓の感覚や副交感神経系の調整に関与します。
5. ×
舌下神経は第12脳神経で、舌を動かすことに関与しています。



問21【解説】

■問題文

次の記述のうち、鼻の構造と機能として、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 鼻腔は前鼻道・中鼻道・後鼻道に分かれる。
2. 鼻毛は塵や埃を除去する。
3. 鼻腔の奥は喉頭に直接つながっている。
4. 鼻腔には毛細血管は少ない。
5. 嗅細胞は外鼻孔にある。

■解答&解説

答:② 鼻毛は塵や埃を除去する。

1. ×
鼻腔は、上鼻道、中鼻道、下鼻道に分かれます。
2. ○
鼻毛は、吸い込んだ空気中の塵や埃、異物を捕らえ、鼻腔への侵入を防ぐ役割を果たします。
3. ×
鼻腔の奥は咽頭につながり、そこから喉頭へと続きます。
4. ×
鼻腔には、空気の加温・加湿を行うために、非常に多くの毛細血管が分布しています。
5. ×
嗅細胞は、鼻腔の上部にある嗅粘膜に存在し、においを感じ取る働きがあります。



問22【解説】

■問題文

次のうち、歯周病(periodontal disease)の症状として、適切なものを1つ選びなさい。

1. 歯のくぼみの形成
2. 歯の硬組織の軟化
3. 歯髄の炎症・疼痛
4. 歯のエナメル質の侵蝕
5. 歯周ポケットの形成

■解答&解説

答:⑤ 歯周ポケットの形成

1. ×
主に虫歯の進行による症状です。
2. ×
虫歯の初期症状で、歯のエナメル質や象牙質が軟化する現象を指します。
3. ×
虫歯が進行して歯の神経まで達したときに起こる症状です。
4. ×
酸によって歯の表面が溶ける現象で、虫歯や胃酸の逆流などが原因となります。
5. ○
歯周病の進行により、歯肉が炎症を起こして歯と歯肉の間が深くなり、歯周ポケットが形成されます。これは、歯周病の最も特徴的な症状の一つです。



問23【解説】

■問題文

Aさん(78歳、女性)は、友人から口臭を指摘されて悩んでいる。また、食事をするときに、「水分と一緒に食べないと飲み込みにくい」とも話している。Aさんに歯の欠損、麻痺はなく、ストレスの訴えもない。

次のうち、Aさんのからだの中で、機能低下が考えられるものとして、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 咀嚼
2. 蠕動運動
3. 嗅覚
4. 唾液分泌
5. 胃液分泌

■解答&解説

答:④ 唾液分泌

1. ×
歯の欠損や麻痺がないため、咀嚼機能に大きな問題は考えられません。
2. ×
蠕動運動は、食道や腸などで食物を移動させる動きであるためAさんの訴えとは関係がつかない。
3. ×
Aさんの訴えである「口臭、飲み込みにくさ」には直接関係がありません。
4. ○
唾液は、食べ物を湿らせ、飲み込みやすくする働きがあります。唾液の分泌が低下すると、食べ物が口の中でうまくとまらず、飲み込みにくくなります。
5. ×
胃液の分泌が低下すると、消化不良が起こる可能性がありますが、Aさんの訴えとの直接的な関連はありません。



問24【解説】

■問題文

皮膚の構造に関する次の記述のうち、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 表皮の厚さは平均2.0mmである。
2. 真皮には角質層がある。
3. 外界と接する組織は表皮である。
4. 皮脂腺は皮下組織にある。
5. 表皮の最表面は基底層である。

■解答&解説

答:③ 外界と接する組織は表皮である。

1. ×
一般的に、数ミリから1mm程度です。
2. ×
角質層は表皮の最外層です。
3. ○
表皮は皮膚の一番外側の層であり、直接外界と接しています。
4. ×
皮脂腺は、毛包とつながっており、主に真皮にあります。
5. ×
表皮の最表面は角質層であり、基底層は表皮の最深部にあります。



問25【解説】

■問題文

次のうち、高齢者が嗜好や温度覚の低下によって高温浴を希望した場合に、説明すべき高温浴の特徴として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 血圧の上昇
2. 腸蠕動の促進
3. 腎機能の促進
4. 副交感神経の亢進
5. 心機能の抑制

■解答&解説

答:① 血圧の上昇

1. ○
高温浴は、血管を拡張させ、一時的に血圧を上昇させることがあります。特に高齢者では心血管や脳血管系に負担がかかりやすくなります。
2. ×
高温浴は交感神経を活性化させるため、消化管の蠕動運動を抑制する傾向があります。
3. ×
高温浴では発汗が促されることで体液が減少し、一時的に腎臓の血流が減少するため、腎機能はむしろ低下する可能性があります。
4. ×
高温浴では交感神経が優位になりやすく、副交感神経の亢進は起こりません。
5. ×
高温浴は、心拍数を上げ、心臓への負担を増やす可能性があります。



問26【解説】

■問題文

次のうち、食物の栄養素の大部分を吸収する部位として、正しいものを1つ選びなさい。

1. 胃
2. 小腸
3. 直腸
4. 横行結腸
5. S状結腸

■解答&解説

答:② 小腸

1. ×
胃では、タンパク質の消化が始まりますが、栄養素の吸収はほとんど行われません。
2. ○
小腸は、栄養素の消化と吸収の中心的な役割を果たす部位です。
3. ×
便を一時的に貯留する場所であるため、ほとんどの栄養素は吸収されません。
4. ×
横行結腸は、大腸の一部であり、水分やナトリウム、カリウムなどの電解質を吸収を行う場所です。
5. ×
主に水分の吸収や便の形成に関わる部位です。



問27【解説】

■問題文

次の記述のうち、レム睡眠に関するものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 記憶を整理し、定着させる。
2. 脳を休息させる。
3. 入眠初期に出現する。
4. 成長ホルモンの分泌を促す。
5. 深い眠りの状態である。

■解答&解説

答:① 記憶を整理し、定着させる。

1. ○
レム睡眠は、Rapid Eye Movement(急速眼球運動)の略で、睡眠中に目が素早く動く状態を指します。この間は浅い眠りの状態で、脳は活発に活動しており、記憶の整理や定着といった重要な役割を担っています。
2. ×
ノンレム睡眠(深い眠り)が脳を休息させる役割を担っています。
3. ×
入眠初期に出現するのは、ノンレム睡眠です。
4. ×
成長ホルモンが分泌が盛んになるのは、ノンレム睡眠です。
5. ×
レム睡眠は、浅い眠りの状態です。



問28【解説】

■問題文

Bさん(76歳、男性)は、この数週間日中に、「眠い」と訴えている。Bさんは毎日15時にコーヒー1杯を飲み、たばこを1本吸い21時に就寝する。夜間の睡眠状態を数日間観察すると、睡眠中にぴくぴくと下肢が動いていることがたびたびあった。起床後、手足に異常を感じるかをBさんに確認したが、「特にない」とのことだった。

次のうち、Bさんの睡眠障害の原因として、**最も適切なもの**を1つ選べなさい。

1. ニコチン摂取
2. レム睡眠行動障害
3. レストレスレッグス症候群
4. カフェイン摂取
5. 周期性四肢運動障害

■解答&解説

答:⑤ 周期性四肢運動障害

1. ×
ニコチンには中枢神経を刺激する作用があり、睡眠の質を低下させる可能性があります。しかし、Bさんの症状である「睡眠中の下肢の動き」とは直接的に関連しません。
2. ×
レム睡眠中に夢の内容を再現するように身体を動かしてしまう睡眠障害。Bさんの症状は、レム睡眠中ではなく、睡眠中に繰り返し起こる下肢の動きであるため、レム睡眠行動障害とは考えにくいです。
3. ×
睡眠中に足がむず痒くなり、動かしたくなる感覚に襲われる病気により睡眠障害を引き起こします。
4. ×
カフェインは中枢神経を興奮させる作用があり、睡眠を妨げる可能性があります。しかし、Bさんの症状である睡眠中の下肢の動きを直接引き起こす原因とは考えにくいです。
5. ○
周期性四肢運動障害とは、睡眠中に足や手が無意識に繰り返す運動を伴う睡眠障害です。この運動は、本人は自覚していないことが多いです。



問29【解説】

■問題文

次のうち、呼吸中枢がある部位として、正しいものを1つ選びなさい。

1. 大脳
2. 中脳
3. 小脳
4. 延髄
5. 脊髄

■解答&解説

答:④ 組織図

1. ×
思考や判断、記憶などを司ります。
2. ×
中脳は視覚や聴覚の処理、また運動の調整などを行う部位です。
3. ×
小脳は運動の協調やバランスの調整を担っています。
4. ○
延髄の呼吸調節に関わる部分(呼吸調節中枢)は、呼吸の自動的な制御を行い、呼吸のリズムや深さを調整します。
5. ×
脊髄は運動機能や反射に関わります。



問30【解説】

■問題文

次のうち、脳の機能停止を示す徴候に該当するものとして**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 呼吸不全
2. 溢流性尿失禁
3. 心停止
4. 蠕動運動の減弱
5. 瞳孔散大対光反射消失

■解答&解説

答:⑤ 瞳孔散大対光反射消失

1. ×
呼吸不全そのものは脳の機能停止を示す兆候としては直接的ではありません。
2. ×
溢流性尿失禁は、膀胱の機能低下によるものです。
3. ×
心停止は循環器系の問題であるため、脳の機能停止とはつながりません。
4. ×
蠕動運動の減弱は、消化器系の問題であるため、脳の機能停止とはつながりません。(脳幹が関与していることもありますが、脳単独ではおこりません)
5. ○
瞳孔散大・対光反射消失は、視神経とのつながりがあり、脳の機能が低下していることを示す代表的な徴候です。



問31【解説】

■問題文

次の記述のうち、子どもの標準的な成長として、適切なものを1つ選びなさい。

1. 1歳半から2歳ごろに、ハイハイをして移動できるようになる。
2. 生後9か月から1歳ごろに、指をさして自分の関心や欲求を他者に伝えられるようになる。
3. 子どもが使う言葉が急に増える語彙爆発は、5歳を過ぎたころに生じる。
4. 人見知りの反応は、2歳を過ぎたころに生じる。
5. イヤイヤをしてすぐに泣く行動は、第二反抗期に生じる。

■解答&解説

答:② 生後9か月から1歳ごろに、指をさして自分の関心や欲求を他者に伝えられるようになる。

1. ×
ハイハイは、通常、生後7～9ヶ月頃から始まります。
2. ○
指差しは、生後9～12ヶ月ごろに見られる行動です。
3. ×
語彙爆発は通常、生後18ヶ月から2歳ごろに見られます。
4. ×
人見知りは通常、生後6ヶ月から1歳ごろに始まります。
5. ×
イヤイヤ期は第一反抗期で、通常1歳半から3歳の間に見られる行動です。



問32【解説】

■問題文

次の記述のうち、神経性無食欲症(anorexianervosa)に関するものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 活動性が高まる。
2. 学童期に最も生じやすい。
3. 太ることへの恐怖はみられない。
4. 低体重の深刻さを理解している。
5. 多くが男性である。

■解答&解説

答:① 活動性が高まる

1. ○
神経性無食欲症は、体重減少を極端に恐れるあまり、食事を拒否したり、過度な運動をしたりする病気です。そのため、活動性が高まるという特徴があります。
2. ×
思春期以降の女性に多くみられます。
3. ×
最も大きな特徴の一つが、太ることへの異常な恐怖です。
4. ×
低体重であることを自覚していても、それを否定したり、さらに痩せたいという願望が強かったりします。
5. ×
思春期以降の女性に多くみられます。



問33【解説】

■問題文

Aさん(73歳、男性)は、会社の役員として勤めていたが、3年前に退職した。地域の老人クラブへの入会を勧められたが拒否している。毎年、敬老の日に記念品が配布されても、不快感を示して受け取らない。退職後も会社の状況を気にしていて、後輩とときどき連絡をとっている。Aさんは、身体が衰えることに強い不安を感じて、筋力トレーニングを毎日行っている。会社の後輩から、「いつも若々しいですね」と言われることに喜びを感じている。

ライチャード(Reichard,S.)による、引退後の男性の5つの適応タイプのうち、Aさんに相当するものとして、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 外罰(憤慨)型
2. 内罰(自責)型
3. 円熟(成熟)型
4. 自己防衛(装甲)型
5. ロッキングチェアー(安楽椅子)型

■解答&解説

答:④ 自己防衛(装甲)型

1. ×
周囲の状況や他人を責め、不満を募らせる傾向があります。Aさんは、周囲に対して不満を述べている様子はありません。
2. ×
自分自身を責め、自己評価が低い傾向があります。Aさんは、自分の能力に自信を持っているように見えます。
3. ×
老いを自然に受け入れ、穏やかに過ごします。Aさんは、老いを認めたくないという気持ちが強いようです。
4. ○
老化や引退を強く否定し、若さや能力を維持するために過剰に努力するタイプです。Aさんは筋トレを毎日行い、若さを保つことに喜びを感じています。また、後輩と連絡を取り、会社とのつながりを意識していることも、このタイプの特徴に合致します。
5. ×
外の世界との関わりを断ち、内向的な生活を送ります。Aさんは、社会とのつながりを維持しようとしているため、このタイプには当てはまりません。



問34【解説】

■問題文

次の記述のうち、結晶性知能に関する説明として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 感覚や運動に基づく知能である。
2. 過去に得た知識を活用して問題を解決する能力である。
3. 40～50歳で急激に低下する。
4. 知識や文化の影響よりも、生理的な老化の影響を受けやすい。
5. その場で新しい問題を解決する能力である。

■解答＆解説

答:② 過去に得た知識を活用して問題を解決する能力である。

1. ×
結晶性知能は、過去の経験や知識を活用する知能であり、感覚や運動能力には直接関係しません。流動性知能に近い概念です。
2. ○
結晶性知能は、学校教育や仕事を通じて得た知識や経験を活用して問題を解決する能力が含まれます。老年期でも比較的保持される特徴があります。
3. ×
40～50歳で急激に低下するのは、流動性知能です。
4. ×
生理的な老化の影響を受けやすいのは流動性知能です。
5. ×
流動性知能にあたります。



問35【解説】

■問題文

次の記述のうち、加齢に伴う感覚機能の変化として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 皮膚感覚が敏感になる。
2. 高音域の聴力が高まる。
3. 暗順応の時間が延長する。
4. 味覚が敏感になる。
5. 嗅覚が敏感になる。

■解答&解説

答:③ 暗順応の時間が延長する。

1. ×
加齢とともに、皮膚感覚は鈍くなる傾向があります。
2. ×
加齢とともに、高音域の聴力は低下する傾向があります。
3. ○
加齢に伴い、この暗順応の時間が長くなり、暗い場所での視力が低下する傾向があります。
4. ×
加齢とともに、味覚は鈍くなる傾向があります。
5. ×
加齢とともに、嗅覚は鈍くなる傾向があります。



問36【解説】

■問題文

Bさん(74歳、女性)は、地方で一人暮らしをしている。持病はなく、認知機能の異常もない。ダンスサークルに通い、近所との付き合いも良好で、今の暮らしに満足している。最近、白髪が増え、友人との死別もあり、年をとったと感じている。ある日、一人息子(50歳、未婚)から、東京で一緒に住むことを提案された。Bさんは、「ここには知り合いがいるが、東京には誰もいない。ここが一番いい」と言った。すると息子は、Bさんに、「年をとると頑固になる。あと数年したら認知症(dementia)になるかもしれないので、自分と一緒に暮らすべきだ」と言った。次のうち、Bさんに関する記述として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. Bさんには、老性自覚はみられない。
2. Bさんには、友人との死別による悲嘆がみられる。
3. Bさんは、今、住んでいる環境や生活に適応できていない。
4. Bさんには、エイジズム(ageism)の考え方がみられる。
5. Bさんには、住み慣れた環境や仲間を喪失することへの不安がみられる。

■解答&解説

答:⑤ Bさんには、住み慣れた環境や仲間を喪失することへの不安がみられる。

1. ×
老いを自覚しているからこそ、今の生活に満足し、変化を恐れていると考えられます。
2. ×
問題文から、友人との死別に関する記述は見当たりません。
3. ×
問題文から、現在の生活に満足している様子が伺えます。
4. ×
エイジズムとは「年齢に基づく差別」のことです。Bさんの発言からは、他者を差別するような考え方は見られません。
5. ○
Bさんは「ここには知り合いがいるが、東京には誰もいない」と述べていて、住み慣れた環境や地域のつながりを重視しています。息子と一緒に暮らす提案に対し、環境や仲間を失う不安を感じていると思われます。



問37【解説】

■問題文

次の記述のうち、サクセスフル・エイジング (successful aging) として、適切なものを1つ選びなさい。

1. 長生きすることが、最大の目的である。
2. 一人暮らしで、周囲の人と交流をしないようにしている。
3. 膝に痛みがあるので、一日中ベッド上で過ごすようにしている。
4. 難聴があるので、補聴器をつけてパソコン教室に通い始めた。
5. 歌を上手に歌えなくなったので、カラオケに誘われても行かないようにしている。

■解答 & 解説

答:④ 難聴があるので、補聴器をつけてパソコン教室に通い始めた。

サクセスフル・エイジングとは、健康で自立した生活を送りながら、社会とのつながりを保ち、人生を豊かに過ごすことを指します。

1. ×
長寿だけが目的という考えは適切ではありません。
2. ×
他者との交流を避ける行動は、孤立や精神的な問題を引き起こす可能性があり、適切とは言えません。
3. ×
痛みを理由に動かないことは適切ではありません。
4. ○
難聴ということがあっても補聴器を活用し、新しいことに挑戦する姿勢は、サクセスフル・エイジングの典型的な行動です。
5. ×
自分の能力が低下したことを理由に活動を避ける行動は、サクセスフル・エイジングの考え方には反します。



問38【解説】

■問題文

次のうち、老年症候群に直接関わる疾患として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 高血圧症(hypertension)
2. 糖尿病(diabetsmellitus)
3. 骨粗鬆症(osteoporosis)
4. 心筋梗塞(myocardialinfarction)
5. 脂質異常症(dyslipidemia)

■解答&解説

答:③ 骨粗鬆症(osteoporosis)

老齡症候群とは、加齢に伴い高齢者に多くみられる、医師の診察や介護・看護を必要とする症状、徴候の総称のことです。

1. ×
一般的な生活習慣病の一つですが、老年症候群に直接結びつく疾患ではありません。
2. ×
老年症候群に直接関わる疾患というよりも、生活習慣病の一つであり、老年症候群の症状の背景要因にはなるものの、代表的な疾患ではありません。
3. ○
骨粗鬆症は、加齢に伴い特に高齢者に多く見られる疾患で、骨折や転倒のリスクを高めます。これらは老年症候群の典型的な症状に直結しており、直接的に関連する疾患と考えられます。
4. ×
高齢者に多い疾患ではありますが、急性の心血管疾患であり、老年症候群の概念には直接結びつきません。
5. ×
高齢者にもよく見られる生活習慣病の一つですが、老年症候群の症状そのものに直結する疾患とは言えません。



問39【解説】

■問題文

次の記述のうち、2019年（令和元年）の認知症施策推進大綱に関する説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進していく。
2. 「予防」とは、「認知症(dementia)にならない」という意味である。
3. 「認知症高齢者等にやさしい地域づくり」を推進する7つの柱が示された。
4. 「普及啓発本人発信支援」として、家族が積極的に本人の意思を代弁することが示された。
5. 策定後は、毎年施策の進捗を確認することが示された。

■解答&解説

答:①「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進していく。

認知症施策推進大綱の概要

＜基本理念＞「共生」と「予防」を車の両輪とし、認知症の方が尊厳を持って暮らせる社会の実現を目指す。

＜5つの柱＞①普及啓発・本人発信支援 ②予防 ③医療・ケア・介護サービス・介護者の支援 ④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援 ⑤研究開発・産業促進・国際展開

1. ○
認知症の人もそうでない人も共に暮らす「共生社会」の実現と、認知症の発症を遅らせたり、進行を遅らせたりする「予防」の両方を重視しています。
2. ×
「予防」は、「認知症にならない」という意味だけでなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味も含みます。
3. ×
これは新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）の内容です。
4. ×
本人の意思を尊重しながら、本人自身が意思表示できるよう支援することが求められます。
5. ×
策定後3年を目途に施策の進捗を確認することが示されています。



問40【解説】

■問題文

Aさん(84歳、女性、要介護3)は、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)で、介護老人福祉施設に入所している。赤ちゃんの人形を持っていて、「はなちゃん」と呼んで話しかけている。

昼食のため、介護福祉職が居室を訪問すると、Aさんは不安そうな顔で、「はなちゃんがいなくなった。どこへ連れて行ったの?返して」と大声を出した。人形はAさんのロッカーの上に置かれていた。

Aさんに対する介護福祉職の最初の声かけとして、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 「私を疑っているんですか」
2. 「置いた場所を忘れたんですか」
3. 「心配ですね、一緒に探しませんか」
4. 「ご飯を食べてから探してはどうですか」
5. 「ロッカーの上にあるのが見えないんですか」

■解答&解説

答:③「心配ですね、一緒に探しませんか」

1. ×
Aさんを責めるような言い方で、逆効果になる可能性があります。
2. ×
Aさんの認知機能に直接的に触れることで、混乱を招く可能性があります。
3. ○
Aさんの不安な気持ちに共感しつつ、一緒に行動することで安心感を与える対応です。
4. ×
Aさんの不安な気持ちよりも、食事を優先しているように聞こえ、Aさんの気持ちに寄り添えていません。
5. ×
Aさんの認知機能に直接的に触れることで、混乱を招く可能性があります。



問41【解説】

■問題文

認知症 (dementia) の高齢者にみられる、せん妄に関する記述として、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 覚醒レベルが重度に低下した状態である。
2. 症状の変動が少ないことが特徴である。
3. 夜間よりも日中に生じやすいことが特徴である。
4. 認知機能障害がみられることはまれである。
5. 関与する因子を特定することが重要である。

■解答&解説

答:⑤ 関与する因子を特定することが重要である。

1. ×
せん妄では、覚醒レベルが変動することが特徴であり、常に重度に低下しているわけではありません。
2. ×
せん妄の症状は、時間帯や状況によって大きく変動することが特徴です。
3. ×
せん妄は、夜間に悪化する傾向があります。(夜間せん妄、サンセットシンドローム)
4. ×
せん妄は、認知機能障害を特徴とする状態です。
5. ○
生命にかかわる疾患が存在する可能性があるため、原因を特定し適切な治療をすることが重要です。



問42【解説】

■問題文

次の記述のうち、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)の特徴として、適切なものを1つ選びなさい。

1. 近時記憶(新しい記憶)の障害は、初期から始まる。
2. 特徴的な症状として幻視がある。
3. 脳にアミロイド β が沈着し始めると、すぐに発症する。
4. 歩行障害が多く現れるのは、初期の段階である。
5. 嚥下障害が多く現れるのは、初期の段階である。

■解答&解説

答:① 近時記憶(新しい記憶)の障害は、初期から始まる。

1. ○
アルツハイマー型認知症の初期症状として、近時記憶障害です。新しい出来事など例えば食したことを忘れる、同じことを何度も聞くなどの症状が特徴的です。
2. ×
幻視は、レビー小体型認知症の特徴的な症状であり、アルツハイマー型認知症では一般的ではありません。
3. ×
アミロイド β の沈着は、アルツハイマー病の発症に深く関わっていますが、沈着が始まったからといって、すぐに症状が現れるわけではありません。
4. ×
歩行障害は、病気が進行し、脳の広い範囲に影響が出てきたときにみられる症状です。
5. ×
嚥下障害は、病気が進行し、脳のさまざまな機能が低下した結果、現れる症状です。



問43【解説】

■問題文

次のうち、認知症（dementia）のリスクを高める要因として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 身体活動
2. 不飽和脂肪酸の摂取
3. 歯がなくなることによる咀嚼機能の低下
4. 難聴による補聴器の使用
5. ボランティア活動

■解答＆解説

答:③ 歯がなくなることによる咀嚼機能の低下

1. ×
身体活動は、認知機能の低下を防ぐ上で重要な要素であり、積極的に行うべきです。
2. ×
オメガ3脂肪酸などの不飽和脂肪酸を含む食品（魚やナッツ類）の摂取は、認知症リスクの低減するとされています。
3. ○
咀嚼機能の低下は、脳への刺激が減少するため、認知機能の低下や認知症のリスクを高める要因として知られています。
4. ×
難聴は認知症のリスクを高める要因ですが、補聴器を使用することで、このリスクを軽減することができます。
5. ×
ボランティア活動は、社会とのつながりを維持し、認知機能を活性化させる効果が期待できます。



問44【解説】

■問題文

次のうち、全般的な認知機能を評価する尺度であり、30点満点で20点以下を認知症の目安とするものとして、正しいものを1つ選びなさい。

1. バーセルインデックス (Barthel Index)
2. 改訂長谷川式認知症スケール (HDS-R)
3. FAST (Functional Assessment Staging)
4. 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準
5. 臨床的認知症尺度 (CDR: Clinical Dementia Rating)

■解答 & 解説

答: ② 改訂長谷川式認知症スケール (HDS-R)

1. ×
バーセルインデックスは、生活習慣や社会参加など、生活全般の状況进行评估する尺度です。認知機能の評価には直接的には用いられません。
2. ○
認知機能を評価するための尺度で、日本で広く使用されています。30点満点で採点し、20点以下を認知症の目安とすることがあります。
3. ×
認知症の進行度を評価するための尺度に用いられ、7段階に分類されます。
4. ×
認知症高齢者の日常生活自立度を「I」から「M」までの6段階で評価するものです。
5. ×
認知症の重症度を「0 (正常) ~ 3 (重度)」で評価する尺度です。



問45【解説】

■問題文

次の記述のうち、「認知症(dementia)の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」(2018年(平成30年)(厚生労働省))で示されている、意思決定支援として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 認知症(dementia)の人の家族の意思を支援することである。
2. 意思決定支援者は特定の職種に限定される。
3. 一度、意思決定したら、最後まで同じ内容で支援する。
4. 看取りの場面になってから支援を開始する。
5. 身振りや表情の変化も意思表示として読み取る努力を最大限に行う。

■解答&解説

答:⑤ 身振りや表情の変化も意思表示として読み取る努力を最大限に行う。

1. ×
ガイドラインでは、あくまでも本人の意思を尊重することが強調されています。
2. ×
医師、看護師、介護福祉士だけでなく、家族やボランティアなど、様々な人が意思決定支援者になることができます。
3. ×
認知症の方の状況は日々変化するため、意思決定も柔軟に対応していく必要があります。
4. ×
意思決定支援は、早期から行うことが重要です。
5. ○
ガイドラインでは、このような非言語的なコミュニケーションにも注意を払い、本人の意思を尊重することが重要だと述べられています。



問46【解説】

■問題文

次の記述のうち、回想法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 肩や背中から優しくゆっくりと触れる。
2. 共感を通して認知症(dementia)の人が体験している現実を受け入れる。
3. 見当識を高めるために、時間や場所、現在の状況を説明する。
4. 昔の写真や音楽を活用して、記憶を活性化する。
5. 残存能力を活用し、共同作業を通して仲間をつくる。

■解答&解説

答:④ 昔の写真や音楽を活用して、記憶を活性化する。

1. ×
これはタクティールケア(触れることで安心感を与えるケア)に該当します。
2. ×
これはユマニチュードやバリデーションといったケア技法に近い考え方です。
3. ×
これは現実見当識訓練(RO: Reality Orientation)に関する内容です。
4. ○
回想法とは、過去の経験や思い出を振り返り、語り合うことを通して、認知機能の改善や精神的な安定を図る方法です。
5. ×
これは主にレクリエーションや作業療法の目的に関連する内容です。



問47【解説】

■問題文

次の記述のうち、認知症疾患医療センターの説明として、適切なものを1つ選びなさい。

1. 事業の実施主体は、市町村である。
2. 都道府県ごとに、1か所の設置が義務づけられている。
3. 認知症(dementia)の鑑別診断を行う。
4. 主に認知症(dementia)が進行した人の入院治療を行う。
5. 介護保険法に定められている。

■解答&解説

答:③ 認知症(dementia)の鑑別診断を行う。

1. ×
認知症疾患医療センターの設置や運営は、都道府県や指定都市が実施主体となります。
2. ×
認知症疾患医療センターは、都道府県単位で複数設置することが求められる場合がありますが、1か所のみの義務付けはありません。
3. ○
認知症疾患医療センターは、認知症の診断、治療、相談など、様々なサービスを提供する専門機関です。特に、認知症の鑑別診断は、適切な治療を行う上で非常に重要です。
4. ×
認知症疾患医療センターは、外来診療が中心です。
5. ×
認知症疾患医療センターは、医療機関であり、介護保険法ではなく、医療法に基づいて設置されます。



問48【解説】

■問題文

Bさん(87歳、男性)は、一人暮らしである。玄関前で、脱水で倒れているところを発見され、救急搬送された。入院中、認知症(dementia)の疑いがある行動が見られた。Bさんは、「自宅で暮らしたい」と強く希望していた。退院後、Bさんは外出して自宅に戻れなくなることがあった。近所の人たちが、Bさんの生活を心配して、地域包括支援センターに相談した結果、認知症初期集中支援チームが編成された。

次の記述のうち、Bさんに対して認知症初期集中支援チームが行う支援として**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 金銭管理を行う。
2. 支援方針を検討する。
3. 居宅サービス計画書を作成する。
4. 介護保険サービスを契約する。
5. 法定後見を行う。

■解答&解説

答:② 支援方針を検討する。

認知症初期集中支援チームは、認知症と診断されたばかりの人や、その家族に対して、訪問によって初期の段階から包括的な支援を行うチームです。

1. ×
直接的に金銭管理を行うことは役割に含まれません。金銭管理については、成年後見制度や福祉サービスが対応する場合があります。
2. ○
認知症初期集中支援チームの主な役割には、本人や家族の状況を把握し、適切な支援方針を検討することが含まれます。
3. ×
居宅サービス計画書(ケアプラン)の作成は、主に介護支援専門員(ケアマネジャー)の役割です。
4. ×
介護保険サービスの契約は、本人や家族が行うものです。
5. ×
法定後見制度の申立てや後見人の選任は家庭裁判所で行われ、認知症初期集中支援チームの役割ではありません。



問49【解説】

■問題文

ICF(International Classification of Functioning, Disability and Health: 国際生活機能分類)の社会(人生)レベルに該当するものとして、**正しいもの**を1つ選びなさい。

1. 心身機能・身体構造
2. 活動
3. 参加
4. 機能障害
5. 活動制限

■解答&解説

答:③ 参加

1. ×
身体の器官や身体システムの機能、身体構造のことです。例えば、視力、聴力、関節の可動域などがこれに当たります。
2. ×
日常生活の具体的なタスクを遂行する能力のことです。例えば、食事をする、歩く、文字を書くなどがこれに当たります。
3. ○
社会生活への参加、つまり社会の一員としての役割を果たす能力のことです。例えば、仕事、学習、レクリエーション、社会関係など、社会生活における様々な活動への参加がこれに当たります。
4. ×
心身機能や身体構造に障害がある状態を指します。
5. ×
活動を制限する要因となるものを指します。



問50【解説】

■問題文

次の記述のうち、障害者のエンパワメントに関するものとして、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 障害のある人が障害のない人と同等に生活し、活動する社会を目指す。
2. 専門職が主導し、障害がある人は受動的に支援を受ける。
3. 障害のある人が自らの能力や長所に気づき、課題に対応する。
4. 障害のある人が、主体性や人権が守られないことに耐える。
5. 障害のある人が、医学的リハビリテーションを受ける。

■解答&解説

答:③ 障害のある人が自らの能力や長所に気づき、課題に対応する。

1. ×
これは「ノーマライゼーション」という考え方です。
2. ×
エンパワメントでは、障害のある人が主体的に関わり、自分の人生を決定していくことが重要です。
3. ○
障害がある人が自分の可能性を信じて行動することを促進します。
4. ×
エンパワメントは、障害のある人の主体性や人権を尊重することを目指します。
5. ×
医学的リハビリテーションは、障害者の機能回復を支援する重要な要素ですが、エンパワメントそのものを指すものではありません。



問51【解説】

■問題文

次のうち、クローン病 (Crohn disease) にみられる特徴的な症状として**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 視力低下
2. 栄養障害
3. 咳嗽
4. 運動失調
5. 関節痛

■解答&解説

答:② 栄養障害

クローン病は、消化管に慢性的な炎症が起こる病気です。腸の粘膜に潰瘍ができ、栄養吸収が悪くなることで、様々な症状が現れます。

1. ×
視力低下はクローン病の典型的な症状ではありません。
2. ○
腸の炎症によって栄養吸収が悪くなり、体重減少や貧血、倦怠感などの栄養障害が起こることがあります。
3. ×
咳嗽はクローン病の症状として一般的ではありません。
4. ×
運動失調はクローン病の症状として一般的ではありません。
5. ×
関節痛はクローン病の合併症として起こることがありますが、特徴的な症状ではありません。



問52【解説】

■問題文

次の記述のうち、遂行機能障害の特徴として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 些細なことですぐに興奮して怒鳴る。
2. 新しい知識を覚えることが困難である。
3. ぼんやりして周囲に注意を向け続けることが困難である。
4. 行動を計画して実行することが困難である。
5. 言葉の表出や理解が困難である。

■解答&解説

答:④ 行動を計画して実行することが困難である。

高次脳機能障害などの主な症状の特徴の問題です。

1. ×
社会的行動障害に当てはまります。
2. ×
記憶障害に当てはまります。
3. ×
注意障害に当てはまります。
4. ○
遂行機能障害は、行動を計画したり、実行したり、目標達成に向けた行動を適切に選択することが困難になる状態です。
5. ×
言語障害に当てはまります。



問53【解説】

■問題文

視覚障害の特徴と視覚障害者の生活支援に関する次の記述のうち、**最も適切なもの**を1つ選ちなさい。

1. ロービジョンは、視覚情報をまったく得られない状態である。
2. 中途視覚障害者は、先天性の障害に比べて障害を受容しやすい。
3. 白杖には、視覚に障害があることを周囲に知らせる役目がある。
4. 視覚障害を補うために、ペットの犬と一緒に外出する。
5. 視覚障害者は、ガイドヘルパーの利用はできない。

■解答&解説

答:③ 白杖には、視覚に障害があることを周囲に知らせる役目がある。

1. ×
ロービジョンとは、眼鏡やコンタクトレンズで矯正しても、日常生活に支障が出る程度の視力低下を指します。完全に視覚情報を失っている状態ではありません。
2. ×
一概にどちらが受け入れやすいとは言えませんが、中途視覚障害者は、視力を失ったことによる喪失感や、以前の生活とのギャップに苦しむことがあります。
3. ○
白杖は、視覚障害者が安全に歩行するために使用するだけでなく、周囲の人に視覚障害者がいることを知らせる役割も果たします。
4. ×
視覚障害者の外出には、盲導犬や白杖やガイドヘルパー、視覚補助機器などがより効果的です。
5. ×
視覚障害者はガイドヘルパーを利用することができます。



問54【解説】

■問題文

Aさん(76歳、女性)は、パーキンソン病(Parkinson disease)と診断され、日常生活動作(Activities of Daily Living: ADL)は、車いすやベッド上で全介助である。最近、食事に時間がかかって嫌がるようになり、かすれ声が目立つようになった。
次のうち、現在のAさんに対して介護福祉職が留意すべきこととして、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 安静時振戦
2. 筋固縮
3. 仮面様顔貌
4. 誤嚥
5. 便秘

■解答&解説

答:④ 誤嚥

1. ×
パーキンソン病の四大症状の一つであり、手足の震えです。しかし、Aさんが示している食事の問題やかすれ声とは直接関係ありません。
2. ×
筋肉の硬直やこわばりがパーキンソン病で見られる四大症状の一つです。これも日常生活に影響を与える症状ですが、食事や声のかすれとは直接の関係は薄いです。
3. ×
パーキンソン病の四大症状の一つである無動・寡動によるもので、表情が乏しく、無表情に見える状態ですが、これは食事の問題や声のかすれには関係しません。
4. ○
食事に時間がかかり、かすれ声が目立つというAさんの状態は、誤嚥のリスクが高いことを示唆しています。誤嚥性肺炎を防ぐために嚥下機能の評価と支援が重要です。
5. ×
パーキンソン病では便秘がよく見られる症状ですが、Aさんの食事や声のかすれに直接関係しているわけではありません。



問55【解説】

■問題文

聴覚障害者の特徴や支援の方法に関する次の記述のうち、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 要約筆記によって意思疎通を補う。
2. 軽度の聴覚障害を「ろう」という。
3. フラッシュベルは周囲の音を増幅させて伝える。
4. 手話は意思の伝達に役立たない。
5. 両耳の聴力レベルが40dBで身体障害者手帳が交付される。

■解答&解説

答:① 要約筆記によって意思疎通を補う。

1. ○
話の内容をリアルタイムで文字に起こし、聴覚障害者に伝える支援方法です。聴覚障害者が話の内容を視覚的に捉えることができるため、意思疎通を円滑にする上で非常に有効な手段となります。
2. ×
「ろう」は、全く聞こえない、またはほとんど聞こえない重度の聴覚障害を指します。軽度の聴覚障害は、難聴と呼ばれます。
3. ×
フラッシュベルは、光で音を視覚的に伝える機器です。
4. ×
手話は、聴覚障害者同士、または聴覚障害者と聴者との間で、視覚的に情報をやり取りするための言語です。意思伝達に非常に役立ちます。
5. ×
身体障害者手帳の交付基準は、聴力レベルだけでなく、年齢や職業なども考慮されます。一概に40dBで交付されるとは限りません。



問56【解説】

■問題文

Bさん(24歳、男性)は、母親と二人暮らしで、小学生のときに注意欠陥多動性障害と疑われていた。Bさんは、最近になって昼夜を問わずゲームを続け、朝起きられずにアルバイトを無断で休むことが増えた。

次のうち、Bさんの母親が相談する機関として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. ハローワーク(公共職業安定所)
2. 難病情報センター
3. 認知症カフェ
4. 放課後等デイサービス
5. 発達障害者支援センター

■解答&解説

答:⑤ 発達障害者支援センター

1. ×
職業に関する相談や就職支援を行う機関です。
2. ×
難病に関する情報提供や相談を行います。注意欠陥多動性障害は難病ではありません。
3. ×
認知症に関する情報交換や交流の場です。
4. ×
主に、発達障害のある子どもを対象としたサービスです。Bさんは成人であるため、対象外となります。
5. ○
発達障害者支援センターは、発達障害に関する支援や相談を専門に行っている機関で、Bさんのような成人の発達障害に関連する問題にも対応しています。



問57【解説】

■問題文

次の記述のうち、「障害者差別解消法」の合理的配慮に沿った対応として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

1. 車いすの身体障害者から、陳列棚にある商品を見せてほしいと言われたが、口頭で商品を説明した。
2. 聴覚障害者の手話による注文がわからなかったので、最も人気のあるメニューを出した。
3. 盲導犬を連れた視覚障害者が来店したが、動物嫌いの客から苦情を言われると思い犬は店の中に入れないように頼んだ。
4. 役所に相談に来た精神障害者から、多くの人の中だと不安になると言われたため、帰宅してもらった。
5. 知的障害者から申し出があったので、会議に参加するための資料をわかりやすい言葉に直して、事前に口頭で説明した。

■解答&解説

答:⑤ 知的障害者から申し出があったので、会議に参加するための資料をわかりやすい言葉に直して、事前に口頭で説明した。

1. ×
車いすを利用する人は、自分で商品を取り出すことが難しい場合もあります。直接商品を見せるという配慮が必要です。
2. ×
聴覚障害者の意思を尊重せず、一方的に決められたことは、差別的な対応と言えるでしょう。
3. ×
盲導犬は、視覚障害者の移動を補助するための重要なツールです。盲導犬同伴を拒否することは、差別的な行為です。
4. ×
精神障害のある人も、他の利用者と同様に、行政サービスを受ける権利があります。状況に応じて、個別対応が必要となります。
5. ○
知的障害者の状況に合わせて、情報提供の方法を工夫したものであり、合理的配慮の典型的な例です。



問58【解説】

■問題文

レスパイトケアの望ましいあり方に関する記述として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 障害者はサービスを利用せずに生活するべきである。
2. 利用中、家族は自宅で休まなくてはならない。
3. 家族が障害者を預けて旅行に行くことは認められない。
4. 家族の休息が目的なので、障害者の施設利用は宿泊に限定される。
5. 家族が休息している間も、障害者が自分らしく過ごせるようにする。

■解答&解説

答:⑤ 家族が休息している間も、障害者が自分らしく過ごせるようにする。

1. ×
レスパイトケアは、介護者（家族など）の負担を軽減し、障害者が安心して生活できることを目的としたサービスです。
2. ×
必ずしも自宅で休む必要はありません。
3. ×
家族が旅行に行くことは、レスパイトケアの目的の一つです。
4. ×
レスパイトケアは、宿泊だけでなく、デイサービスなど、様々な形態があります。
5. ○
レスパイトケアの最も重要な目的の一つです。障害者が安心して過ごせるような環境を提供し、その人らしい生活を支援することが大切です。



問59【解説】

■問題文

次の記述のうち、成人に対する救急蘇生法での胸骨圧迫の方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 呼吸が確認できない場合は、すぐに圧迫を始める。
2. 圧迫する部位は、胸骨の左側である。
3. 実施者の両手を重ねて、指先で圧迫する。
4. 圧迫の深さは、胸が10cm沈むようにする。
5. 1分間に60回を目安に圧迫する。

■解答&解説

答:① 呼吸が確認できない場合は、すぐに圧迫を始める。

1. ○
心肺蘇生法では、呼吸が確認できない場合は、脳への酸素供給を再開するために胸骨圧迫を直ちに開始することが重要です。
2. ×
胸骨圧迫は、胸の中央(胸骨の中央部分)に行う必要があります。
3. ×
手のひら全体、特に基部で胸骨を圧迫します。
4. ×
成人の場合、胸が少なくとも5cm沈むように圧迫します。
5. ×
1分間に100回～120回の速さで、強く、速く、絶え間なく圧迫する必要があります。



問60【解説】

■問題文

次の記述のうち、痰を喀出する仕組みに関するものとして、正しいものを1つ選びなさい。

1. 呼吸器官の内部は乾燥した状態になっている。
2. 気管の内部の表面には絨毛があり、分泌物の侵入を防いでいる。
3. 分泌物は、咽頭で吸収される。
4. 痰は、咳や咳払いによって排出される。
5. 咳は、下垂体にある咳中枢によっておこる反射運動である。

■解答&解説

答:④ 痰は、咳や咳払いによって排出される。

1. ×
呼吸器官の内部は、粘液で湿潤な状態が保たれています。この粘液が、異物を捕らえたり、気道を保護したりする役割を果たしています。
2. ×
気管の内部には、「絨毛」と呼ばれる小さな毛のようなものが生えていて、この絨毛が波打つように動いて、痰を上の方へ押し上げていきます。
3. ×
分泌物は、咳や咳払いによって口から排出されます。
4. ○
痰を体外へ出すためには、咳や咳払いといった呼吸運動が必要です。
5. ×
咳中枢は延髄にあります。



問61【解説】

■問題文

次の記述のうち、介護福祉士が行う口腔内の喀痰吸引の方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 吸引圧は、利用者の体調によって介護福祉士が決める。
2. 吸引圧をかけた状態で、吸引チューブを挿入する。
3. 口蓋垂まで吸引チューブを挿入する。
4. 吸引チューブを回転させながら痰を吸引する。
5. 吸引後は洗浄水を吸引し、清浄綿でチューブを拭く。

■解答&解説

答:④ 吸引チューブを回転させながら痰を吸引する。

1. ×
吸引圧の設定は、医師がおこなう。
2. ×
吸引圧は、チューブを挿入した後に適切なタイミングでかけるべきです。
3. ×
吸引チューブの挿入は咽頭手前までです。
4. ○
回転させながら吸引することで、痰を効果的に取り除くことができます。
5. ×
吸引後は、チューブを洗浄することが重要ですが、洗浄水を吸引する方法は一般的ではありません。



問62【解説】

■問題文

次の記述のうち、消化器症状の説明として、正しいものを1つ選びなさい。

1. 腹部膨満感は、腹部が張る感覚のことである。
2. しゃっくり(吃逆)は、胸膜の刺激で起こる現象である。
3. 胸やけは、飲食物による食道の熱傷のことである。
4. げっぷ(嗳気)は、咽頭にたまった空気が排出されることである。
5. 嘔気は、胃や腸の内容物が、食道を逆流して口外に吐き出されることである。

■解答&解説

答:① 腹部膨満感は、腹部が張る感覚のことである。

1. ○
腹膜の刺激が原因ではなく、腸内の膨張に関する症状です。
2. ×
しゃっくりは、横隔膜の不随意的な収縮によって起こります。
3. ×
胸やけは、胃酸が食道に逆流することによって引き起こされる症状です。
4. ×
げっぷは、飲み込んだ空気や胃の中に溜まったガスが、口から排出される現象です。
5. ×
嘔気は吐き気を伴う状態を指し、吐く(嘔吐)こととは異なります。



問63【解説】

■問題文

Aさん(80歳、女性)は、脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症で左片麻痺があり、介護老人保健施設に入所して在宅復帰に向けた訓練をしている。嚥下障害もあるため、経鼻経管栄養による栄養摂取をしているが、経口摂取できないことでイライラしてチューブを抜去したことがある。医師からは一時的な治療であると説明を受けて同意していた。

経管栄養中に介護福祉士が訪室すると、チューブを触りながら、「自分の口から食べたいから、このチューブを抜いてほしい。見た目も良くない」と訴えがあった。看護師に連絡し、チューブが抜けていないことを確認してもらった。

このときのAさんへの介護福祉士の対応として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. チューブを抜かないようにAさんの右手を固定する。
2. 経管栄養が早く終わるように滴下速度を調節する。
3. 医師や看護師にAさんの思いを伝える。
4. Aさんに胃ろうの造設を提案する。
5. Aさんに経口摂取を提案する。

■解答&解説

答:③ 医師や看護師にAさんの思いを伝える。

1. ×
Aさんの自主性を尊重せず、身体拘束につながる可能性があります。
2. ×
医師の指示がない限り、勝手に滴下速度を変更することはできません。
3. ○
Aさんの気持ちを医師や看護師に伝え、Aさんがどのように感じているかを共有することが重要です。医療チームがAさんの意向を考慮して、今後の方針を決定する手助けとなります。
4. ×
胃ろうは、経鼻経管栄養に比べて侵襲性が高く、安易に提案すべきではありません。
5. ×
Aさんが経口摂取をできないために経管栄養を行っている状態です。経口摂取が不可能な場合に無理に提案することは、Aさんの安全を危険にさらすことになります。医師の指示のもと、慎重に進める必要があります。



問64【解説】

■問題文

介護福祉に関連する法律に関する次の記述のうち、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 「高齢者虐待防止法」は、福祉六法の1つである。
2. 「障害者総合支援法」は、障害者基本計画の策定を義務づけている。
3. 社会福祉法によって、社会福祉士の定義が規定されている。
4. 介護保険法は、国民の共同連帯の理念に基づいて介護保険制度を設けている。
5. 医師法によって、介護福祉の業務の一部として医行為が認められている。

(注)

- 1.「高齢者虐待防止法」とは、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」のことである。
- 2.「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

■解答&解説

答:④ 介護保険法は、国民の共同連帯の理念に基づいて介護保険制度を設けている。

1. ×
「福祉六法」とは、「社会福祉法」「老人福祉法」「児童福祉法」「身体障害者福祉法」「知的障害者福祉法」「生活保護法」の6つを指します。「高齢者虐待防止法」は含まれません。
2. ×
障害者基本計画の策定を義務づけているのは「障害者基本法」であり、「障害者総合支援法」ではありません。
3. ×
社会福祉士の定義は「社会福祉士及び介護福祉士法」に規定されています。「社会福祉法」ではありません。
4. ○
介護保険制度は、「国民の共同連帯の理念」に基づき、社会保険方式で運営されています。この記述は適切です。
5. ×
「医師法」では、医療行為(医行為)は医師以外の者が行うことを基本的に禁止しています。



問65【解説】

■問題文

社会福祉士及び介護福祉士法に関する次の記述のうち、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 資質向上のために、5年に1回、資格更新研修を受けなければならない。
2. 社会福祉士の業務を介護福祉士が行うことは禁じられている。
3. 介護福祉士の信用を傷つける行為をしてはならない。
4. 介護福祉士は、その業を辞した後は秘密保持義務が解除される。
5. 介護福祉士国家試験に合格した日から、介護福祉士を名乗ることができる。

■解答&解説

答:③ 介護福祉士の信用を傷つける行為をしてはならない。

1. ×
介護福祉士・社会福祉士の資格には更新制度はありません
2. ×
介護福祉士が社会福祉士の業務(相談援助業務)を行うことを法律で禁じているわけではありません。ただし、専門的な業務としては分業が求められます。
3. ○
「社会福祉士及び介護福祉士法」第44条 で、「介護福祉士はその信用を傷つけるような行為をしてはならない」と明記されています。
4. ×
秘密保持義務(守秘義務)は、介護福祉士を辞めた後も継続します(同法第47条)。これは、利用者のプライバシー保護のために重要な規定です。
5. ×
介護福祉士国家試験に合格しても、登録手続きを完了しなければ「介護福祉士」と名乗ることはできません(同法第42条)。



問66【解説】

■問題文

Aさん(75歳、女性)は、3か月前に、血管性認知症(vascular dementia)を発症し、軽度の左片麻痺で杖歩行となり、要介護3と認定された。Aさんは、料理が大好きで、娘と一緒に食事を作ることを楽しみに生活していた。1か月前から認知症(dementia)が進行し、ユニット型介護老人福祉施設に入所した。Aさんは夕方になると、「ご飯の支度をしないといけないから帰ります」と言いながら、興奮して歩き回る様子がみられるようになった。

Aさんへの介護福祉職の対応として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 居室に鍵をかけて、自室で過ごしてもらう。
2. 介護福祉職と一緒に、夕食の準備をしてもらう。
3. 杖を預かり、低めの丸椅子に座ってもらう。
4. 介護福祉職の判断で、向精神薬を服用してもらう。
5. ここがAさんの自宅であることを理解してもらう。

■解答 & 解説

答:② 介護福祉職と一緒に、夕食の準備をもらう。

1. ×
身体拘束に該当する可能性のある行為であり、不適切。
2. ○
本人の思いと過去の習慣に根ざした対応であり、適切。
3. ×
こちらも、行動制限を行う身体拘束に該当する可能性があり、不適切。
4. ×
介護職員の判断で医薬品を使うのは誤りであり、不適切。
5. ×
認知症ケアにおいて、本人の認識を否定することは逆効果。相手の行動の背景を理解し、安全に活動できる環境を提供することが重要。



問67【解説】

■問題文

ICF(International Classification of Functioning, Disability and and Health)国際生活機能分類)における「参加」と「活動」の2つが関連した、認知症の人の支援に関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 若年性アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type with early onset)があり、治療している。
2. 認知症カフェに通い、体操をしている。
3. 近所に住む長男が、買物を代行している。
4. 自宅にある広い庭を、バリアフリー化している。
5. 見当識障害があり、GPS装置を身に着けている。

■解答&解説

答:② 認知症カフェに通い、体操をしている。

1. ×
治療は心身機能・身体構造へのアプローチとなっており、設問には対応していない。
2. ○
認知症カフェに通うことは「参加」に該当し、体操することは「活動」の実践に該当するため、適切。
3. ×
支援のみであり、本人の参加・活動が含まれていないので、不適切。
4. ×
支援が環境整備のみであり、本人の参加・活動が含まれていないので、不適切。
5. ×
支援が環境整備のみであり、本人の参加・活動が含まれていないので、不適切。



問68【解説】

■問題文

次の記述のうち、介護保険制度における訪問介護員（ホームヘルパー）が行うサービス内容として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 利用者が大切にしている庭の植木に、水やりをする。
2. 利用者が長年飼っている猫のペットフードを購入してくる。
3. 掃き掃除をする習慣のある利用者と一緒に、寝室をほうきで掃除する。
4. 利用者と一緒に、近所のラーメン屋に行く。
5. 利用者のクレジットカードを預かって、買物を代行する。

■解答&解説

答:③ 掃き掃除をする習慣のある利用者と一緒に、寝室をほうきで掃除する。

1. ×
介護保険サービスの範囲を逸脱しており、不適切。
2. ×
介護保険サービスの範囲を逸脱しており、不適切。
3. ○
利用者の自立支援のためにも、非常に効果的であり、適切。
4. ×
介護保険サービスの範囲を逸脱しており、不適切。
外出介助は通院など、必要不可欠な外出のみであり、設問のような内容は保険外のサービスとしては提供可能。
5. ×
介護保険サービスの範囲を逸脱しており、不適切。



問69【解説】

■問題文

次の記述のうち、介護従事者を守る法制度として、正しいものを1つ選びなさい。

1. 労働安全衛生法では、年に1回以上の健康診断を行うことを義務づけている。
2. 労働者災害補償保険法では、労働時間、賃金、休暇などの労働条件を定めている。
3. 環境基本法では、快適な職場環境の形成の促進を定めている。
4. 介護休業は、対象家族1名につき、毎年93日間を取得できる。
5. 出生時育児休業は、子の出生後から8週間取得できる。

■解答&解説

答:① 労働安全衛生法では、年に 1回以上の健康診断を行うことを義務づけている。

1. ○
記載の通り、労働者に対して事業規模を問わず年1回必ず実施する必要がある。
2. ×
労働条件を定めているのは、労働基準法。
3. ×
快適な職場環境の形成の促進を定めているのは、労働安全衛生法。
4. ×
介護休業は、対象家族1名につき、一要介護状態ごとに1買い通算して93日取得することができる。毎年という部分が誤り。
5. ×
出生時育児休業は、子の出生後8週間以内に最大4週間取得できるので、誤り。



問70【解説】

■問題文

Bさん(68歳、女性、要介護1)は、ヨーロッパで生まれ育ち、50歳のときに日本人と結婚した。65歳で夫と共に日本で暮らすようになったが、日本語は十分に理解できない。半年前に、脳梗塞(cerebral infarction)を起こし、利き手に麻痺があり、立ち上がりも不安定である。現在は、介護老人保健施設に入所し、在宅復帰へ向けたりハビリテーションを行っている。Bさんはこれまでの生活様式を守り、自宅で自分のペースで食事ができるようになりたいと希望している。

次の記述のうち、Bさんへの介護福祉職の対応として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 入所中は母語を使わずに、日本語を話すように伝える。
2. 居室の床に布団を敷いて、寝起きができるようにする。
3. 自分で食事ができるように、自助具の使用状況を確認する。
4. ほかの利用者と同じ時間に食べ終えるように伝える。
5. 日本の生活に合わせるように、余暇活動の内容は介護福祉職が判断する。

■解答&解説

答:③ 自分で食事ができるように、自助具の使用状況を確認する。

1. ×
本人は日本語を十分に理解しておらず、それを無視した対応は不適切。
2. ×
本人の文化的背景や意思を無視した対応で不適切。
3. ○
本人の意思や文化的背景を尊重しており、適切。
4. ×
本人の意思を無視した対応で不適切。
5. ×
本人の文化的背景や意思を無視した対応で不適切。



問71【解説】

■問題文

次の記述のうち、チームアプローチに関するものとして、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 介護福祉職が利用者のところに行って、相談、支援を行う。
2. 障害者が、地域の資源を活用して、共生社会の実現を目指す。
3. 複数の専門職が共通の目標に向かって協働し、課題解決に取り組む。
4. 利用者に代わって、専門職がサービスを決定する。
5. 当事者が集まって体験談を話し、共に支えあう。

■解答&解説

答:③ 複数の専門職が共通の目標に向かって協働し、課題解決に取り組む。

1. ×
選択肢の説明は、アウトリーチの概念についてであり、不適切。
2. ×
選択肢の説明は、地域包括ケアの概念についてであり、不適切。
3. ○
適切である。
4. ×
選択肢の説明は、専門職主導についてであり、不適切。
5. ×
選択肢の説明は、セルフヘルプグループについてであり、不適切。



問72【解説】

■問題文

介護保険施設における防災対策に関する次の記述のうち、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 介護福祉士は、災害派遣福祉チームで活動することが義務づけられている。
2. 介護福祉士は、防災スキル向上のために、防災士の資格取得が義務づけられている。
3. 災害対策基本法に基づき、個別避難計画の作成が施設長に義務づけられている。
4. 一般的に、飲料水と非常食は1日分の備蓄が義務づけられている。
5. 災害時等に備えて、業務継続計画（BCP: Business Continuity Plan）の策定が義務づけられている。

■解答＆解説

答:⑤ 災害時等に備えて、業務継続計画（BCP: Business Continuity Plan）の策定が義務づけられている。

1. ×
特に法的な義務はない。
2. ×
防災士の資格取得などに法的な義務はない。
3. ×
個別避難計画の作成は、市町村の努力義務であり、施設長の義務ではない。
4. ×
最低でも3日分の飲料水の備蓄が必要。
5. ○
説明の内容が適切です。



問73【解説】

■問題文

次のうち、結核(tuberculosis)の予防対策に該当するものとして、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 便座のアルコール消毒
2. 肺炎球菌ワクチンの接種
3. 紫外線を避けた生活
4. 年に1回の胸部X線検査
5. 50℃以上の温水によるリネン類の洗濯

■解答&解説

答:④ 年に1回の胸部X線検査

1. ×
腸管感染症対策にはなるが結核とは関係がない。
2. ×
肺炎予防にはなるが、結核には関係がない。
3. ×
日焼けや皮膚がん予防にはなるが、結核の予防にはならない。
4. ○
適切な選択肢。
5. ×
腸管感染症対策にはなるが結核とは関係がない。



問74【解説】

■問題文

次の記述のうち、利用者とのコミュニケーションの場面で用いる要約の技法として、適切なものを1つ選びなさい。

1. 開かれた質問をして、利用者の気持ちを明らかにした。
2. 共感しながら話を聞き、利用者の気持ちを受け止めた。
3. 話の途中でうなずき、利用者の気持ちに同意した。
4. 話の内容を総合的にまとめて返し、利用者の気持ちを整理した。
5. 自己覚知を図り、利用者との人間関係の形成に努めた。

■解答&解説

答：④ 話の内容を総合的にまとめて返し、利用者の気持ちを整理した。

1. ×
質問の技法であり、要約ではない。
2. ×
共感の技法であり、要約ではない。
3. ×
傾聴の技法であり、要約ではない。
4. ○
要約についての説明であり、適切。
5. ×
自己洞察の技法であり、要約ではない。



問75【解説】

■問題文

次の記述のうち、利用者と家族の意向が異なるとき、家族とのコミュニケーションにおいて介護福祉職が留意すべき点として、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 家族に支援方針を決めてもらう。
2. 家族を通して利用者の意向を聴き取る。
3. 家族と話す機会を別に設ける。
4. 家族にカウンセリングを行うことを意識する。
5. 家族を説得する。

■解答&解説

答:③ 家族と話す機会を別に設ける。

1. ×
利用者の自己決定権を一方的に無視することは不適切。
2. ×
利用者の意向は利用者本人からしっかりと聞き取ることが必要
3. ○
適切。まずは十分に話を聞いて、利用者本人との意向を整理確認する必要がある。
4. ×
カウンセリングまで行う必要はない。また介護福祉職の役割を超えている。
5. ×
一方的な説得は不適切。しっかりと理解を得るためにもまずは話を聞くことが優先される。



問76【解説】

■問題文

Aさん(80歳男性、要介護3)は介護老人福祉施設に入所している。アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)が進行している。ある日の昼食時介護福祉職がAさんに配膳すると「お金はこれしかありません。足りませんか」と小さくたたまれたティッシュペーパーを渡してきた。

このときのAさんに対する介護福祉職の対応として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. ティッシュペーパーは、口の周りが汚れたら拭くものだ伝える。
2. ティッシュペーパーが不足しているサインとして受け止める。
3. 飲食店での会計の場面であると認識して対応する。
4. 食事に集中するように促す。
5. 小遣いの増額を家族に相談する。

■解答&解説

答:③ 飲食店での会計の場面であると認識して対応する。

1. ×
Aさんの認識や感情に寄り添わない不適切な対応
2. ×
Aさんの認識や感情に寄り添わない不適切な対応
3. ○
認知症の人の言動には意味があり、その人の世界観に沿った対応が適切。現状会計の場面であると認識して対応することは適切。
4. ×
Aさんの認識や感情に寄り添わない不適切な対応
5. ×
Aさんの認識や感情に寄り添わない不適切な対応



問77【解説】

■問題文

構音障害のあるBさんは、現在発語訓練を実施中である。ある日、介護福祉職に対して、「おあんで、あつがおごれた」と訴えた。介護福祉職は、Bさんの発語をうまく聞き取れず、「もう一度言ってください」と伝えた。Bさんは、自身の発語で会話を続けようとしているが、介護福祉職には、その内容を十分に理解することができなかった。

このときの、Bさんに対する介護福祉職の判断として、**最も適切なもの**を1つ選
びなさい。

1. Bさんは言葉の意味の理解に支障があるため、会話の継続は困難である。
2. 発音が苦手なため、短い言葉でゆっくり話してもらう必要がある。
3. 話す意欲があるため、開かれた質問が有効である。
4. 発語訓練の効果がみられないため、訓練を中止する必要がある。
5. Bさんの言葉が聞き取れないため、会話を中断する必要がある。

■解答&解説

答:② 発音が苦手なため、短い言葉でゆっくり話してもらう必要がある。

1. ×
構音障害は、発音に問題があるだけで、言葉の理解には支障がない場合が多いです。
2. ○
長い文章を話すと、発音が不明瞭になり、聞き取りにくくなる場合があります。
3. ×
開かれた質問は、Bさんの発話を促すためには有効ですが、Bさんの発音が不明瞭な場合は、質問の内容を理解できない可能性もあります。
4. ×
Bさんは、自分の発語で会話を続けようとしていることから、発語訓練の効果は出ていると考えられます。
5. ×
会話を中断することは、Bさんの意欲を削ぐ可能性があります。Bさんの言葉を理解しようと努めることが大切です。



問78【解説】

■問題文

Cさん(55歳男性)は、知的障害がある。3か月前に、施設から居宅での一人暮らしに移行し、現在は、居宅介護(ホームヘルプサービス)を利用しながら生活している。ある日、Cさんが「ゴミ分けて捨てるの難しいよ」と言うので、室内に分別収集の説明書を貼って、カレンダーに収集日を書くことにした。そして、介護福祉職は、「この説明書とカレンダーを見て、捨てるといいですよ」とCさんに伝えた。その後、Cさんは努力していたが、分別できなかったゴミが少しずつ増えていった。

次のうち、Cさんにかかる介護福祉職の最初の言葉として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 「ゴミでいっぱいになる前に、適切に捨てられるようになりましょう」
2. 「説明書とカレンダーをよく見てください」
3. 「ゴミが増えてきて、気持ち悪いですね」
4. 「がんばっていれば、上手にできるようになりますよ」
5. 「ゴミ捨ては難しいですよ。できることをいっしょに考えましょう」

■解答&解説

答:⑤「ゴミ捨ては難しいですよ。できることをいっしょに考えましょう」

1. ×
一方的な指示となっており、不適切。
2. ×
一方的な指示となっており、不適切。
3. ×
否定的な言葉であり、支援的ではない。不適切。
4. ×
一方的な応援であり、解決策を示していない。応援することは間違いではないが、惜しい選択肢。より適するものがあるため、不正解。
5. ○
気持ちに共感しながら、かつ一緒に解決策を考えることは自立支援の観点から適切。



問79【解説】

■問題文

介護保険サービスにおける記録に関する次の記述のうち、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 記録に含まれないものとして食事チェック表がある。
2. 介護記録は介護福祉職の意見を中心に記録する。
3. 調査・研究目的で記録を利用することは避ける。
4. 主観的情報と客観的事実は区別しないで記録する。
5. 利用者は記録の閲覧を請求することができる。

■解答&解説

答:⑤ 利用者は記録の閲覧を請求することができる。

1. ×
食事チェック表も記録に含まれます。
2. ×
事実を記録するべきで、介護福祉職の意見を中心に記載してはいけない。
3. ×
個人情報の保護に配慮したうえで利用することは可能。
4. ×
しっかりと区別して記載しないと、何が起きたのか正しく伝わらず不適切。
5. ○
適切です。



問80【解説】

■問題文

高齢者に配慮した居室環境に関する次の記述のうち、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 夏は高齢者が発汗してから冷房を使用する。
2. 暖房を使用するときは除湿機を併用する。
3. 冷房を使用するときは換気を控える。
4. 温度は介護福祉職の感覚で調整する。
5. 冬はトイレの温度を居室の温度に近づける。

■解答&解説

答:⑤ 冬はトイレの温度を居室の温度に近づける。

1. ×
高齢者は発汗しにくく、体温調整が苦手な傾向にある。
汗をかく前から冷房を調整することで、熱中症を防ぐことができる。
2. ×
乾燥による健康被害が考えられ、加湿するようにした方が良い。
3. ×
換気は必要であり、不適切。
4. ×
高齢者の体感温度も配慮する必要がある。
5. ○
ヒートショック現象を防ぐために適切



問81【解説】

■問題文

次の記述のうち、介護の現場において、レクリエーション活動で実施するアイスブレーキングの効果として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 参加者の緊張感を軽減することができる。
2. 活動内容を毎回固定して実施することができる。
3. 介護福祉職の負担を軽減することができる。
4. 利用者の参加を義務づけることができる。
5. 勝敗を楽しむことができる。

■解答&解説

答:① 参加者の緊張感を軽減することができる。

アイスブレーキングとは、何か行事などを始める前に、打ち解けるために行う雑談やクイズなどのことを言います。(アイスブレイクなどとも言います。)

1. ○
正解です。楽しめるようにするために緊張緩和のために行います。。
2. ×
相手に合わせて柔軟に変更することが望ましいです。
3. ×
結果としては負担を軽減できるが、目的はあくまで緊張緩和のためのものであり、不適切。
4. ×
強制することは不適切です。
5. ×
競争は目的ではありません。



問82【解説】

■問題文

次の記述のうち、介護福祉職が行う身じたく整容の介護として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. ベッド上で行う口腔ケアは、ガーグルベースンを用いる。
2. 総義歯の洗浄は、歯みがき剤を用いる。
3. 耳垢の除去は、ピンセットを用いる。
4. ベッド上で行う洗顔は、冷水に浸して絞ったタオルを用いる。
5. 浴室で行う洗髪は、ドライシャンプーを用いる。

■解答&解説

答:① ベッド上で行う口腔ケアは、ガーグルベースンを用いる。

1. ○
ベッド上での口腔ケアでは、うがいが難しい利用者のために、ガーグルベースン(うがい受け)を使用し、口腔内の水や汚れを受け止めることが適切な方法です。
2. ×
歯みがき剤は研磨剤が含まれており、義歯を傷つける可能性があるため使用しません。
3. ×
耳垢をピンセットで除去するのは危険であり、介護福祉職の業務範囲を超えます。
4. ×
冷水ではなく、ぬるま湯(37～40℃程度)を使用するのが一般的です。冷水は利用者に不快感を与える可能性があります。
5. ×
浴室で洗髪できる場合は、ドライシャンプーではなく、通常のシャンプーと流水を用いるのが適切です。



問83【解説】

■問題文

次の記述のうち、障害のある人への事故防止の対応として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. パーキンソン病 (Parkinson disease) の人には、低めのベッドを用意する。
2. 認知症 (dementia) の人には、ガスコンロを用意する。
3. 在宅酸素療法中の人のそばでは、喫煙しない。
4. 視覚障害のある人には、洗体用に頭受け台を用意する。
5. 聴覚障害のある人には、補高便座を用意する。

■解答&解説

答:③ 在宅酸素療法中の人のそばでは、喫煙しない。

1. ×
パーキンソン病の人は、筋固縮や動作の緩慢さが特徴であり、低すぎるベッドだと起き上がりが難しくなるため、むしろ適度な高さのベッドを用意するのが適切です。
2. ×
認知症の人は、火の消し忘れや誤操作による火災のリスクがあるため、ガスコンロの使用は慎重に考えるべきです。
3. ○
在宅酸素療法 (HOT: Home Oxygen Therapy) を受けている人のそばでの喫煙は、酸素が助燃性を持つため、引火や爆発の危険があり非常に危険です。
4. ×
視覚障害と頭受け台の関係は特にありません。
5. ×
聴覚障害と補高便座 (便座を高くする道具) には直接的な関連はありません。



問84【解説】

■問題文

次のうち、右片麻痺の利用者が多点杖を使用して3動作歩行を開始するときに、介護福祉職が行う説明として、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 「杖、右足、左足の順で歩きましょう」
2. 「杖、左足、右足の順で歩きましょう」
3. 「右足、左足、杖の順で歩きましょう」
4. 「左足、杖、右足の順で歩きましょう」
5. 「左足、右足、杖の順で歩きましょう」

■解答&解説

答:①「杖、右足、左足の順で歩きましょう」

杖の三動作歩行は基本的に「杖→患側の足→健側の足」の順番になるため①が正解となる。

②は階段を上るときの説明です。

1. ○
2. ×
3. ×
4. ×
5. ×



問85【解説】

■問題文

ノーリフティングケアに関する次の記述のうち、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 仰臥位(背臥位)の利用者を抱え上げて、端座位にする。
2. 仰臥位(背臥位)の利用者を手前に引きよせて、ストレッチャーに移乗する。
3. 端座位の利用者の体幹を抱きかかえて、車いすに移乗する。
4. 端座位の利用者にスライディングボードを使用して、車いすに移乗する。
5. 立位が困難な端座位の利用者に回転移動盤を使用して、車いすに移乗する。

■解答&解説

答:④ 端座位の利用者にスライディングボードを使用して、車いすに移乗する。

1. ×
ノーリフティングケアでは、利用者を直接抱え上げることは推奨されません。
2. ×
抱えたり引き寄せたりすると、介護者の腰に負担がかかるため、スライディングシートなどを使用するのが望ましいです。
3. ×
直接抱きかかえるのはノーリフティングケアに反するため、不適切です。
4. ○
スライディングボードを使うことで、抱え上げることなく安全に移乗できるため、ノーリフティングケアの考え方に合致します。
5. ×
回転移動盤は立位が取れる人には有効だが、端座位の状態ではスライディングボードの方が適しています。



問86【解説】

■問題文

次の記述のうち、左片麻痺の利用者を右側臥位から端座位にするときの介護として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 利用者に左手でベッド柵をつかむように伝える。
2. 利用者に右肘を支点にして上体を起こしてもらう。
3. 利用者の右脚をベッドから下ろす。
4. 利用者の頸部を支えて上体を起こす。
5. 端座位の利用者の右側に立って上体を支える。

■解答&解説

答:② 利用者に右肘を支点にして上体を起こしてもらう。

1. ×
左手は患側のため、ベッド柵をもつことが難しいため、不正解。
2. ○
利用者の右ひじや右腸骨を支点してもらい、上体を起こしてもらう(てこの原理)。
3. ×
右脚だけでなく、両脚をベッドから下ろす。
4. ×
頸部を支えるとけがをさせてしまう可能性があるため、患側の肩甲骨を支える。
5. ×
患側保護の原理で、左側に立って状態を支える。



問87【解説】

■問題文

口腔ケアに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. うがいは、顔貌を整える。
2. 歯みがきは、感染予防になる。
3. 口腔内の乾燥は、口臭を予防する。
4. 唾液腺マッサージは、唾液の分泌を抑える。
5. 咀嚼機能の向上のために、タッピングを行う。

■解答&解説

答:② 歯みがきは、感染予防になる。

1. ×
うがいは主に口腔内の清潔を保つために行い、顔貌を整えるためではありません。
2. ○
歯みがきは、歯垢や細菌を取り除くことで、口腔内の感染症や虫歯を予防する役割があります。
3. ×
口腔内が乾燥すると、口臭の原因となることが多いです。
4. ×
唾液腺マッサージは、唾液の分泌を促進するための方法であり、抑えるものではありません。
5. ×
咀嚼機能の向上には、タッピングではなく、適切な食べ物を使った練習や、口腔機能訓練が効果的です。



問88【解説】

■問題文

次の記述のうち、口腔ケアを実施するときの留意点として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 実施中は、利用者に顎を上げた姿勢をとってもらおう。
2. 総義歯は、上顎から下顎の順に外してもらおう。
3. 歯みがきの前に、うがいを行ってもらおう。
4. 歯ブラシは、大きく動かして磨いてもらおう。
5. 舌ブラシは、舌尖から咽頭に向かって動かしてもらおう。

■解答&解説

答:③ 歯みがきの前に、うがいを行ってもらおう。

1. ×
顎を上げると、唾液や水分が気管に入りやすくなるため、誤嚥のリスクが高まります。
2. ×
総義歯を外す際は、下顎から外す方が安定し、外しやすいです。
3. ○
うがいによって口腔内を湿らせ、食べかすなどを洗い流すことで、歯みがきがしやすくなります。
4. ×
大きく動かすと、磨き残しが多くなる可能性があります。
5. ×
舌ブラシは、奥から舌尖に向かって動かすことで、嘔吐反射を誘発しにくく、汚れを効果的に除去できます。



問89【解説】

■問題文

次の記述のうち、介護が必要な人への熱中症対策のために、介護福祉職が行う水分補給の対応として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. のどが渇いてから、水分を取るように伝える。
2. 水でむせるときは、ゼリーの提供を控える。
3. 起床時は、水分摂取を控えるように伝える。
4. 食事のときの水分は、一日の水分摂取量から除く。
5. 汗の量が多いときは、塩分を含んだ飲み物を勧める。

■解答&解説

答:⑤ 汗の量が多いときは、塩分を含んだ飲み物を勧める。

1. ×
高齢者は、のどの渇きを感じにくくなるため、のどが渇く前に水分を摂ることが重要です。
2. ×
水分補給は、水分摂取だけでなく、ゼリーや果物などからも行うことができます。
3. ×
起床時は、脱水症状になりやすい状態です。起床後すぐに水分を摂るようにしましょう。
4. ×
食事中の水分も、一日の水分摂取量に含まれます。
5. ○
汗をたくさんかいたときは、塩分を含んだ飲み物を摂取することで、熱中症予防に効果的です。



問90【解説】

■問題文

Aさん(75歳、男性)は、1年前に前頭側頭型認知症(frontotemporal dementia)と診断され、現在は、認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)に入居している。若い頃から食べることが好きである。現在、咀嚼や嚥下機能の低下はなく、スプーンを使い、自分で食べている。最近、飲み込む前に次々と食べ物を口に入れることが増えた。次の記述のうち、Aさんの現在の状態に合わせた食事の介護として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 取っ手付きのコップを準備する。
2. 食器に少量ずつ盛りつけて提供する。
3. すべての料理をテーブルの上に並べる。
4. 大きなスプーンに変更する。
5. 手で持って食べられる物を準備する。

■解答&解説

答:② 食器に少量ずつ盛りつけて提供する。

1. ×
取っ手付きのコップは、握力の低下や手の震えがある場合に有効ですが、Aさんの場合は、飲み込む前に次々と食べ物を口に入れることが問題なので、直接的な解決にはなりません。
2. ○
少量ずつ提供することで、口の中に詰め込む量を制限し、落ち着いて食事ができるよう促すことができます。
3. ×
料理をすべて並べると、どれから食べようか迷ったり、目移りして衝動的に多くの量を口に入れてしまう可能性があります。
4. ×
大きなスプーンは、一度に多くの量を口に入れてしまう原因となります。
5. ×
Aさんの場合は、口の中に詰め込む量を制限することが優先されるため、適切ではありません。



問91【解説】

■問題文

次の記述のうち、パーキンソン病(Parkinson disease)で上肢の震えはあるが、自力摂取が可能な利用者の食事の介護として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 食事後に口腔内のアイスマッサージを行う。
2. 片側の縁が高くなっている皿を準備する。
3. 上半身を後ろに20度程度倒すように伝える。
4. 食器の置いてある位置を説明する。
5. 踵を床から浮かすように伝える。

■解答&解説

答:② 片側の縁が高くなっている皿を準備する。

1. ×
口腔内のアイスマッサージは、嚥下機能の向上を目的とするもので、パーキンソン病の震えに対する直接的な対策ではありません。
2. ○
片側の縁が高くなっている皿は、食べ物をスプーンですくいやすくなるため、震えがある利用者にとって有効な自助具です。
3. ×
上半身を後ろに倒すと、かえって食べ物を飲み込みにくくなる可能性があります。
4. ×
食器の位置を説明することは、認知症の利用者には有効ですが、パーキンソン病の震えに対する対策としては適切ではありません。
5. ×
踵を床から浮かせると、姿勢が不安定になり、食事がしづらくなります。



問92【解説】

■問題文

次の記述のうち、入浴の作用を生かした、高齢者への入浴の介護として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 食事は、入浴直前に摂取する。
2. 高血圧の人には、42℃以上の湯につかってもらう。
3. 浴槽の中では、関節運動を促す。
4. 心疾患(heart disease)のある人には、肩まで湯につかってもらう。
5. 個浴の浴槽内では、足を浮かせてもらう。

■解答&解説

答:③ 浴槽の中では、関節運動を促す。

1. ×
入浴直前の食事は、消化不良や気分不快を起こす可能性があります。
2. ×
高温の湯は、血圧を上昇させ、心臓に負担をかけるため、高血圧の人は避けるべきです。
3. ○
温熱効果で筋肉や関節がリラックスした状態になるため、関節可動域の改善に有効です。
4. ×
心疾患のある人は、心臓への負担を軽減するため、胸まで湯につかるようにしましょう。
5. ×
足を浮かせると、転倒のリスクが高まります。



問93【解説】

■問題文

次の記述のうち、下肢筋力が低下して介護を必要とする人の入浴に適した環境として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 浴室の入口は開き戸にする。
2. 床から浴槽の縁までの高さは20cmにする。
3. 縦に長く、浅めの洋式の浴槽にする。
4. 浴槽の縁の幅は20cmにする。
5. 浴槽への出入りのために、水平および垂直の手すりを設置する。

■解答&解説

答:⑤ 浴槽への出入りのために、水平および垂直の手すりを設置する。

1. ×
開き戸は、開閉時にスペースが必要となり、車椅子利用者や介助者がいる場合は不便です。
2. ×
浴槽の縁が高すぎると、またぎ動作が困難になります。一般的に、床から浴槽の縁までの高さは40cm程度が適切とされています。
3. ×
縦に長い浴槽は、足を伸ばして入浴できるため、リラックス効果は高いですが、下肢筋力が低下している高齢者にとっては、立ち上がりが難しく、かえって危険です。
4. ×
浴槽の縁が狭いと、座ったり立ったりする際に不安定になります。十分な広さが必要です。
5. ○
手すりは浴槽への出入りをサポートし転倒のリスクを軽減するため、下肢筋力が低下している高齢者にとって非常に重要です。



問94【解説】

■問題文

次の記述のうち、体調不良で入浴できない片麻痺の利用者に対して、ベッド上で行う全身清拭の方法として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 清拭時は、窓を開けて行う。
2. 洗面器には、40℃程度のお湯を準備する。
3. 最初に、腹部から清拭する。
4. 背部は、患側を下にした側臥位にして拭く。
5. 蒸しタオルで拭いた後は、乾いたタオルで水分を拭き取る。

■解答&解説

答:⑤ 蒸しタオルで拭いた後は、乾いたタオルで水分を拭き取る。

1. ×
冬場など気温が低いときは、窓を開けると利用者が冷えてしまいます。
2. ×
熱すぎると皮膚を傷める可能性があります。皮膚の感覚が鈍くなっている場合もあるため、お湯の温度は37～38℃くらいが適切です。
3. ×
一般的に、清拭は顔から始めます。顔→上肢→胸腹部→下肢→背部→臀部の順に行うことが多いです。
4. ×
患側を下にしてしまうと、肩や股関節に負担がかかり、痛みを伴う可能性があります。
5. ○
水分が残っていると、皮膚が冷えてしまい、不快感を与えるだけでなく、皮膚トラブルの原因にもなります。



問95【解説】

■問題文

次のうち、同居の高齢者におむつを使用する家族介護者に対する、介護福祉職の説明として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 「使用する本人の羞恥心に気を配りましょう」
2. 「尿失禁を防ぐことができます」
3. 「尿量を気にせずに、1日中同じおむつを使うことができます」
4. 「おむつを着けると、安心して排泄ができます」
5. 「家族の都合に合わせて、おむつを使いましょう」

■解答&解説

答:①「使用する本人の羞恥心に気を配りましょう」

1. ○
正しい対応です。
2. ×
誤った考えを助長してしまう必要があり、より適切な説明が必要。
3. ×
誤った考えを助長してしまう必要があり、より適切な説明が必要。
4. ×
誤った考えを助長してしまう必要があり、より適切な説明が必要。
5. ×
本人の尊厳を無視しているため不適切。



問96【解説】

■問題文

次の記述のうち、ポータブルトイレを使用するときの排泄の介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. ポータブルトイレの下に新聞紙を敷く。
2. ベッドで臥床している状態で、ズボンや下着をおろす。
3. ポータブルトイレには、前かがみになって座ってもらう。
4. 排泄が終わるまで、ポータブルトイレの後ろに立って待つ。
5. 排泄後の陰部の清拭は、ベッドの上で行う。

■解答&解説

答:③ ポータブルトイレには、前かがみになって座ってもらう。

1. ×
新聞紙を敷くことで、清潔を保つ目的が不明確であり、衛生的には適切ではありません。
2. ×
臥床している状態で排泄の準備をすることは不便であり、利用者が自分で起き上がれる場合には座位を取らせる方が理想的です。
3. ○
前かがみの姿勢は、排泄をスムーズに行うために適切な姿勢であり、腹圧がかかることで排泄がしやすくなります。
4. ×
利用者が排泄をしている間、後ろで待つのは不適切です。
5. ×
陰部の清拭は、ポータブルトイレの後、座っている状態で清潔を保つことが大切であり、ベッド上ではなく、トイレで清拭を行うのが通常です。



問97【解説】

■問題文

次の記述のうち、介護福祉職が行うことのできる、坐薬（座薬）を用いた介護として**最も適切なものを1つ**選びなさい。

1. 膣から挿入する坐薬（座薬）が扱える。
2. 坐薬（座薬）は、あたたかな場所で保管する。
3. 坐薬（座薬）は、とがっていない方から挿入する。
4. 腹部に力を入れるよう促しながら、坐薬（座薬）を挿入する。
5. 下剤以外の坐薬（座薬）挿入は、先に排泄を済ませてから行う

■解答＆解説

答:⑤ 下剤以外の坐薬（座薬）挿入は、先に排泄を済ませてから行う

1. ×
医療行為に該当するため、不適切。
2. ×
冷蔵庫や室温で保存することが適切。
3. ×
とがっている方から挿入する。
4. ×
腹部に力を入れると、座薬が戻ってしまう可能性があり、不適切。
5. ○
適切、できるだけ排泄を済ませた方が良い。



問98【解説】

■問題文

次の記述のうち、調理における基本調味料の効果や使い方として、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 砂糖は、塩より先に入れると、食物に甘みが浸透しやすくなる。
2. 塩は、食物のうま味を増し、照りを出す。
3. 酢は、食物の水分を引き出し、保存性を高める。
4. しょうゆは、食物のくさを抜き、肉を柔らかくする。
5. みそは、味付けの最初に入れると、特有の香りが逃げない。

■解答&解説

答:① 砂糖は、塩より先に入れると、食物に甘みが浸透しやすくなる。

1. ○
適切です。
2. ×
説明はみりんに関すること
3. ×
説明は塩に関すること
4. ×
説明はお酢に関すること。
5. ×
味噌は最後に入れた方が、記述の効果が得られる。



問99【解説】

■問題文

食品の保存に関する次の記述のうち、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 賞味期限の切れた未開封の缶詰は、すぐに廃棄する。
2. ウインナーには、消費期限が記載されている。
3. 前日調理して常温保存した肉入りカレーは、再加熱する。
4. りんごを冷蔵庫で保存するときは、ビニール袋に入れて密封する。
5. 冷凍食品は、一度解凍しても再冷凍すれば長期間の保存が可能である。

■解答&解説

答:④ りんごを冷蔵庫で保存するときは、ビニール袋に入れて密封する。

1. ×
未開封の缶詰は、適切に保管されていれば賞味期限が切れてもすぐに食べられないわけではありません。
2. ×
ウインナーは、加工食品であり、比較的保存期間が長いので、賞味期限が表示されています。
3. ×
肉入りカレーを常温保存するのは、食中毒のリスクが高いため非常に危険です。
4. ○
りんごは、エチレングスという熟成ホルモンを発生させます。
5. ×
冷凍食品を一度解凍すると、品質が劣化し、食中毒のリスクが高まります。



問100【解説】

■問題文

次の記述のうち、衣類の保管方法として、適切なものを1つ選びなさい。

1. 衣装ケースで保管するときは、たたんだ衣類の下に防虫剤を入れる。
2. ドライクリーニング後の衣類は、ビニールを外さずに保管する。
3. 汚れのひどい衣類は、介護福祉職の判断で廃棄する。
4. 湿気を含んだ衣類は、たたんで引き出しに保管する。
5. 絹製品は、タンスの上部に保管する。

■解答&解説

答:⑤ 絹製品は、タンスの上部に保管する。

1. ×
防虫剤は、衣類の上に置くことで、効果的に防虫効果を発揮します。
2. ×
ビニールをかぶせたまま保管すると、湿気がこもり、カビや虫食いの原因となります。
3. ×
汚れのひどい衣類は、利用者や家族に相談し、判断を仰ぎましょう。
4. ×
湿気を含んだ衣類をそのまま保管すると、カビや臭いの原因となります。
5. ○
絹製品は、湿気や直射日光に弱いため、タンスの上部など、風通しの良い場所に保管する方が適切です。



問101【解説】

■問題文

次の記述のうち、介護の現場で行うベッドメイキングとして、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 居室の窓は、閉めて行う。
2. キャスターのあるベッドは、ストッパーを外す。
3. シーツの中心線を、マットレスの端に合わせる。
4. シーツをマットレスの下に入れるときは、手掌を下にする。
5. シーツ交換は、両膝を伸ばしたままで行う。

■解答&解説

答:④ シーツをマットレスの下に入れるときは、手掌を下にする。

1. ×
ベッドメイキング中は、換気を行い、新鮮な空気を取り入れるようにしましょう。ただし、冬場など気温が低い場合は、利用者が冷えないよう注意が必要です。
2. ×
ベッドメイキング中にベッドが動いてしまうと、作業効率が悪くなり、転倒などの危険もあります。
3. ×
シーツの中心線は、マットレスの中心に合わせることで、左右均等にシーツを敷くことができます。
4. ○
手掌を下にすることで、力を入れやすく、シーツをしっかりとマットレスの下に押し込むことができます。
5. ×
両膝を伸ばしたままだと、腰に負担がかかり、腰痛の原因になります。



問102【解説】

■問題文

Bさん(90歳、女性、要介護3)は、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)があり、介護老人福祉施設に入所している。テレビを見ることが好きで、日中はお茶を飲みながら、テレビを見て過ごすことが日課である。1週間前からBさんは、夜中に目が覚めたり3時ごろに起きたりと、不眠が続いている。2時間ほどしか寝ていない日もある。ある日、Bさんは、「昼間、眠くてしかたがない。からだがだるい」と介護福祉職に話した。次の記述のうち、Bさんに安眠を促すための介護福祉職の対応として**最も適切なもの**を1つ選べなさい。

1. 午前中.太陽の光を浴びることを勧める。
2. 昼間眠いときは、1時間以上の昼寝を勧める。
3. 夕食後、すぐに寝ることを勧める。
4. 寝る前に、介護福祉職の判断で睡眠薬を勧める。
5. 夜眠れないときは、居室でテレビを見ることを勧める。

■解答&解説

答:① 午前中.太陽の光を浴びることを勧める。

1. ○
午前中に太陽の光を浴びることで、体内時計を整え、睡眠覚醒リズムを正常に近づけることができます。
2. ×
昼寝は短時間であれば有効ですが、長時間になると夜間の睡眠を妨げる可能性があります。
3. ×
食事をした直後に寝ると、消化不良を起こしたり、睡眠の質が低下したりする可能性があります。
4. ×
睡眠薬は、医師の指示のもとで服用する必要があります。
5. ×
テレビの光は、睡眠を促すメラトニンの分泌を抑制するため、寝る前にテレビを見ることは避けましょう。



問103【解説】

■問題文

終末期の介護に関する次の記述のうち、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 決まった時間に食事を提供する。
2. 部屋の換気は控えるようにする。
3. 無反応のときは無言で静かに介護を行う。
4. 呼吸困難時は、顎を下げて頭部を前屈させた仰臥位(背臥位)にする。
5. せん妄によって話のつじつまが合わないときは、否定せずに受け止める。

■解答&解説

答:⑤ せん妄によって話のつじつまが合わないときは、否定せずに受け止める。

1. ×
終末期になると、食欲が低下したり、消化機能が衰えたりすることがあります。
2. ×
換気をしないと、空気がこもり、不快感や感染症のリスクが高まります。
3. ×
無反応であっても、聴覚は最後まで残っているとされています。
4. ×
呼吸困難時は、気道を確保するために、頭を高くし、顎を引いた姿勢にすることが重要です。
5. ○
せん妄は、終末期に起こりやすい症状の一つです。本人の言っていることが事実と異なっても、否定したり、言い返したりせず、優しく受け止めることが大切です。



問104【解説】

■問題文

次のうち、キューブラー・ロス (Kubler-Ross, E.) が提唱した終末期にある人の死の受容過程のうち、「死は避けられないと知り、さまざまな喪失感を抱く段階」に該当するものとして、適切なものを1つ選びなさい。

1. 否認
2. 怒り
3. 取り引き
4. 抑うつ
5. 受容

■解答&解説

答:④ 抑うつ

1. ×
否認: 死の現実を受け入れられず、「そんなはずはない」「誤診だ」などと否定する段階。
2. ×
怒り: 死を受け入れざるを得ない状況に直面し、「なぜ自分が」「どうしてこんな目に」と怒りを感じる段階。
3. ×
取り引き: 死を回避しようと、「神様、もし助けてくれるなら…」といったように、何かに取引を持ちかけようとする段階。
4. ○
抑うつ: 死が避けられないことを知り、深い悲しみや絶望感に襲われる段階。将来への希望を失い、無気力になったり、周囲との関わりを避けたりします。
5. ×
受容: 死を自然なこととして受け入れ、穏やかな気持ちになる段階。



問105【解説】

■問題文

Cさん(58歳、男性)は、アテトーゼ型(athetosis)の脳性麻痺(cerebralpalsy)がある。腕、脚、体幹の筋肉は不随意的にゆっくりと動くことが多く、手指を細かく動かすことは難しい。言葉をはっきり発音することが困難であるが、音の聞き取りはできる。
次のうち、Cさんが使用している情報・意思疎通支援用具として、**最も適切なもの**を1つ選べなさい。

1. 福祉電話
2. 携帯用会話補助装置
3. 人工喉頭
4. 助聴器
5. 点字器

■解答&解説

答:② 携帯用会話補助装置

1. ×
聴覚に障害のある方が利用する電話であり、Cさんのニーズには合致しません。
2. ○
文字を入力したり、絵記号を選択したりすることで、音声や文字で相手に伝えることができる機器です。
3. ×
喉頭摘出などで発声が困難な方が、機器を喉に当てて発声するための用具です。
4. ×
聴覚に障害のある方が音を聞き取りやすくするための機器であり、Cさんのニーズには合致しません。
5. ×
視覚に障害のある方が点字を打つための用具であり、Cさんのニーズには合致しません。



問106【解説】

■問題文

次の記述のうち、介護過程を展開する目的として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 家族が抱える生活課題の解決
2. 個別ケアに基づく利用者の自立支援
3. 介護福祉職の職業倫理の向上
4. 利用者と家族の信頼関係の構築
5. 介護福祉職と他職種との連携の促進

■解答&解説

答:② 個別ケアに基づく利用者の自立支援

1. ×
家族の支援も重要ですが、介護過程の primary focus は利用者本人です。
2. ○
利用者の状態や目標に合わせて個別ケアを提供することで、利用者が可能な限り自立した生活を送れるよう支援することを目的としています。正しいです。
3. ×
職業倫理の向上も大切ですが、介護過程の目的は利用者支援です。
4. ×
信頼関係の構築も重要ですが、介護過程の primary focus は利用者本人の生活支援です。
5. ×
他職種との連携も重要ですが、介護過程の primary focus は利用者支援です。



問107【解説】

■問題文

生活課題に関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 家族の立場から検討する。
2. 利用者のニーズを判断の基盤にする。
3. 利用者の要望を1つに集約する。
4. 介護福祉職の主観を尊重する。
5. 生命の危機よりも利用者の意向を優先する。

■解答&解説

答:② 利用者のニーズを判断の基盤にする。

1. ×
家族の意見も大切ですが、生活課題はあくまでも利用者本人が困っていること、解決したいと考えていることを中心に検討する必要があります。
2. ○
利用者のニーズ、つまり「利用者が何を求めているのか」「どのような生活を送りたいのか」を把握することが、生活課題を明確にする上で最も重要です。正しいです。
3. ×
利用者の要望は複数ある場合があり、それらをすべて把握し、優先順位をつけることが重要です。1つに集約してしまうと、重要な要望が見落とされる可能性があります。
4. ×
介護福祉職の専門的な視点も大切ですが、あくまでも利用者主体で考えることが重要です。
5. ×
利用者の意向を尊重することは重要ですが、生命の危機に直面している場合は、安全確保を最優先にする必要があります。



問108【解説】

■問題文

次の記述のうち、介護過程の展開における評価の説明として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 他の利用者と比較して評価する。
2. 短期目標の評価によって、介護過程の展開を終了する。
3. 目標の達成状況を評価する。
4. 介護計画の実施後に評価日を検討する。
5. 介護計画を修正した場合は、評価を省略する。

■解答&解説

答:③ 目標の達成状況を評価する。

1. ×
利用者それぞれに個性や状況があるため、他者と比較するのではなく、利用者自身の状態や目標に照らし合わせて評価することが重要です。
2. ×
介護過程は、利用者の状態変化に合わせて継続的に行うものです。
3. ○
介護計画で設定した目標(短期目標・長期目標)がどの程度達成できたのかを評価することは、その後の介護サービスを改善していく上で非常に大切です。
4. ×
評価は、計画の実施後に行うだけでなく、定期的に行うことが重要です。
5. ×
介護計画を修正した場合こそ、その修正が適切であったのか、利用者に良い影響を与えているのかを評価することが重要になります。



問109【解説】

■問題文

次のうち、介護保険制度のサービス担当者会議におけるサービス提供責任者の役割として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 会議の主催
2. 居宅サービス計画の原案の説明
3. 他職種が実施したサービス内容の評価
4. 訪問介護計画の作成に要した時間の報告
5. 訪問介護計画の作成に必要な情報の確認

■解答&解説

答:⑤ 訪問介護計画の作成に必要な情報の確認

1. ×
会議の主催は、ケアマネジャーの役割です。
2. ×
居宅サービス計画の原案の説明も、ケアマネジャーの役割です。
3. ×
他職種が実施したサービス内容の評価する際には、それぞれの専門性に基づいた意見交換が重要となりますが、サービス提供責任者が主導して評価を行うことは適切ではありません。
4. ×
訪問介護計画の作成に要した時間は、会議の場では重要情報ではありません。
5. ○
サービス提供責任者は、利用者の日常生活における状況を詳しく把握しており、訪問介護計画の作成に必要な情報を提供することができます。



問110【解説】

■ 問題文

次の事例を読んで、問題110、問題111について答えなさい。

【事例】

Aさん(78歳、男性、要介護1)は、一人暮らしで、脳梗塞(cerebral infarction)を発症し入院した。その後、リハビリテーションを経て、自宅に戻った。利き手の右手に麻痺が残ったため、左手を使った調理の自立を目的に、訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用することになった。サービス利用時は、訪問介護員(ホームヘルパー)の協力を得ながら、孫からプレゼントされた包丁を使って、調理に取り組んでいた。

ある日、好物の牛肉をうまく押さえることができず、切ることができなかった。すると、Aさんは包丁を置き、部屋で横になってしまった。心配した訪問介護員(ホームヘルパー)が声をかけ、バイタルサインを確認したところ変化はなかった。Aさんは、「右手が思うように動いてくれない。悔しい。でも、もう一度ひとりで作れるようになりたい」と話した。

次の日、Aさんは、「今日も手伝って」と訪問介護員(ホームヘルパー)に話した。

調理中にAさんが包丁を置き、部屋で横になってしまった行動に対する解釈として、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

1. 体調不良による休憩
2. 食材に対する不満
3. 調理に対する興味の喪失
4. 包丁に対する不満
5. 調理がうまくできないことに対する苛立ち



問110【解説】**■ 解答 & 解説**

答:⑤ 調理がうまくできないことに対する苛立ち

1. ×
バイタルサインに変化がないことから、体調不良が原因とは考えにくいでしょう。
2. ×
勤牛肉はAさんの好物であり、食材に不満があったとは考えにくいでしょう。
3. ×
調理への興味を失っているとは考えにくいでしょう。
4. ×
包丁自体に不満があったとは考えにくいでしょう。
5. ○
思い通りに調理できないもどかしさや悔しさを感じたと考えられます。



問111【解説】

■問題文

訪問介護計画の修正を目的としたカンファレンスで、訪問介護員（ホームヘルパー）が提案する内容として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 訪問介護員（ホームヘルパー）による調理の代行
2. 担当する訪問介護員（ホームヘルパー）の交代
3. 配食サービスの利用
4. 調理に関する福祉用具の活用
5. 訪問回数の削減

■解答＆解説

答:④調理に関する福祉用具の活用

1. ×
利用者の自立を支援するため、可能な限り本人が調理に参加できるよう支援することが重要です。
2. ×
利用者と訪問介護員（ホームヘルパー）との関係性も重要です。
3. ×
配食サービスは、利用者の状況によっては有効な手段となりえますが、カンファレンスで検討すべきは、訪問介護計画の修正であり、他のサービスの導入は別の機会に検討の方が適切です。
4. ○
福祉用具を活用することで、利用者の身体状況や能力に合わせた調理が可能となり、自立支援につながります。
5. ×
訪問回数の削減は、利用者の状態によっては必要な場合もありますが、安易に削減することは、利用者の生活の質を低下させる可能性があります。



問112【解説】

■問題文

次の事例を読んで、問題112、問題113について答えなさい。

【事例】

Bさん(42歳、女性、障害支援区分3)は、知的障害があり、母親と二人暮らしである。日中は生活介護事業所に通っている。日常生活動作の一部に見守りが必要である。個別支援計画の短期目標を、「見守りのもと、トイレで排泄ができる」としている。しかし、最近、排泄のときに下着やズボンを汚してしまい、それをほかの利用者にかからわれ、しばらく一人でいる様子があつたと生活支援員から申し送りがあつた。ある日、事業所長が話しかけると、Bさんは、「トイレで失敗したら恥ずかしい」と元氣なく話した。母親からも電話で、「これからは紙おむつを使うように勧めているのだけど、使いたくないとBは話している」とサービス管理責任者に連絡があつた。

次のうち、Bさんがしばらく一人でいた様子を理解するために必要な情報として、**最も優先すべきもの**を1つ選びなさい。

1. サービス管理責任者との関係
2. 生活支援員との関係
3. 事業所長との関係
4. ほかの利用者との関係
5. 母親との関係

■解答&解説

答:④ ほかの利用者との関係

1. ×
より日常的に接している人からの情報が重要です。
2. ×
Bさんが生活支援員に直接、一人でいる理由を話していない可能性もあります。
3. ×
事業所長は、Bさん個別の状況を深く理解しているとは限りません。
4. ○
Bさんがどのように感じているのかを把握することが重要です。
5. ×
母親は、日中のBさんの様子を直接見ているわけではありません。



問113【解説】

■問題文

Bさんについて、個別支援会議が開催され、短期目標を、「排泄の自立（下着を汚さずに排泄する）（3か月）」とした。次の記述のうち、Bさんの短期目標を実現するために生活支援員がとる対応として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 定期的に、手順を理解できているか一緒に確認する。
2. 自宅で排泄を済ませ、事業所で排泄しないように助言する。
3. 母親の要望であると伝え、紙おむつを使うように助言する。
4. ポータブルトイレを設置し、そこで排泄をするように誘導する。
5. 排泄に関する行為を、全介助にする。

■解答＆解説

答:① 定期的に、手順を理解できているか一緒に確認する。

1. ○
Bさんが排泄の手順を正しく理解しているか、定期的に確認することで、誤解や忘れを防止し、自立を促すことができます。
2. ×
これは、Bさんの排泄の機会を奪い、自立を妨げる可能性があります。
3. ×
紙おむつの使用は、Bさんの自立を阻害する可能性があります。母親の要望を尊重しつつ、Bさんの意向も確認し、可能な限り自立を支援する方向で検討する必要があります。
4. ×
ポータブルトイレは、移動が困難な場合などに有効な手段ですが、Bさんの場合は、トイレまでの移動を含めて自立を促すことが目標となります。
5. ×
全介助は、Bさんの自立を阻害する可能性があります。Bさんが自分でできることは、できるだけ自分で行うように促し、必要な介助を最小限にすることが重要です。



問114【解説】

■ 問題文

(総合問題1)

次の事例を読んで、問題114から問題116までについて答えなさい。

[事例]

Aさん(70歳、男性)は、妻と二人で暮らしている。旅行や釣りが趣味で、会社員として勤務していたころは、活動的な生活を送っていた。66歳のときにパーキンソン病(Parkinson disease)と診断されたが、内服治療が開始され、症状はあまり気にならなかった。1年前から顔の表情が乏しくなり、歩行開始時に、はじめの一步が出にくくなった。3か月前からは、歩き始めると方向転換が難しく、急に止まることができないことがある。

Aさんは、今後の生活について相談するために、地域包括支援センターに行った。センターで対応してくれたB主任介護支援専門員は、介護福祉士としての実務経験が豊富だった。Aさんは信頼して、気になっていたことをすべて話すことができた。Aさんは、要介護認定を申請することを勧められ、後日、市役所に行き、要介護認定の申請を行った。

現在のAさんの症状に該当するホーエン・ヤール重症度分類として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. ステージⅠ
2. ステージⅡ
3. ステージⅢ
4. ステージⅣ
5. ステージⅤ



問114【解説】

■ 解答 & 解説

答:③ ステージⅢ

1. ×
ステージⅠ: 症状が片側にのみ現れる段階。
2. ×
ステージⅡ: 両側に症状が現れるが、バランスの問題はほとんどない段階。
3. ○
ステージⅢ: 日常生活に支障が出始めるが、歩行や姿勢の保持はできる段階。姿勢反射障害の症状がみられているため、これに該当します。
4. ×
正ステージⅣ: 歩行に支援が必要で、日常生活にも大きな制限が出る段階。
5. ×
ステージⅤ: 車椅子や寝たきりになる段階。



問115【解説】

■問題文

要介護認定を申請してから2週間が経過した。Aさんは要介護認定の認定結果が届かないことが気になった。そこで、以前に対応してくれたB主任介護支援専門員に電話で相談した。次のうち、B主任介護支援専門員の応答として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい

1. 「次の受診時に主治医に相談しましょう」
2. 「通常1か月程度かかるので、あと2週間くらい待ってみましょう」
3. 「以前に自宅に来てくれた認定調査員に相談しましょう」
4. 「念のためもう一度要介護認定を申請してください」
5. 「通常であれば認定結果は出ていると思います」

■解答&解説

答:②「通常1か月程度かかるので、あと 2週間くらい待ってみましょう」

1. ×
主治医に主治医意見書の作成をすることが担当であり、認定結果に関することではなく適切ではありません。
2. ○
要介護認定の結果が届くのに通常かかる期間は、約1か月程度です。
3. ×
認定調査員は調査のみを行うため、認定結果には関与しません。
4. ×
再申請を求める内容であり、既に申請されているため不適切です。
5. ×
通常であれば認定結果は出ているはず、という言い方は、Aさんの不安を増大させる可能性があります。



問116【解説】

■問題文

最近、Aさんは急に体の動きが悪くなる時間帯があり、不安を感じた。そこでAさんは、週に2回利用している訪問介護員（ホームヘルパー）に相談した。相談を受けた訪問介護員（ホームヘルパー）はAさんに、日々の症状の変化とその時間、さらにもう一点をメモして、医師に伝えるようにと助言した。

日々の症状の変化とその時間に加えて、Aさんが医師に伝える内容として、**最も優先度の高いものを1つ**選びなさい。

1. 服薬の時間
2. 起床の時間
3. 食事の時間
4. 排便の時間
5. 入浴の時間

■解答&解説

答:① 服薬の時間

1. ○
パーキンソン病の症状は、服薬によって変化することがあります。薬の効果が切れる時間帯に症状が悪化することがあるため、服薬時間と症状の関係を記録することは、医師の診断に役立ちます。
 2. ×
 3. ×
 4. ×
 5. ×
- ②～⑤は起床時間、食事の時間、排便の時間、入浴の時間などは、日常生活のリズムを示すものであり、症状の変化との直接的な関連性は低いと考えられます。



問117【解説】

■ 問題文

(総合問題2)

次の事例を読んで、問題117から問題119までについて答えなさい。

[事例]

Cさん(90歳女性)は、動物好きで長年ペットのオウムを飼っている。5年前に夫が亡くなったときも、ペットが大きな心の支えになった。2年前、身体の衰えから買物や調理などの家事が難しくなり一人暮らしが困難になったので、ペットと入所できる健康型有料老人ホームに入所した。

最近Cさんは、毎週楽しみにしていたレクリエーションがある曜日や時間を忘れてしまう、トイレの場所がわからず失禁するなどの症状が繰り返し生じるようになってきた。心配した娘がCさんと病院を受診したところ、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)と診断を受けた。

健康型有料老人ホームでは対応が困難になってきたため、心配した娘はCさんが入所できる施設に移ることを検討し始めた。

次のうち、最近のCさんの症状に該当するものとして、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 妄想
2. 見当識障害
3. 失語
4. 遂行機能障害
5. 観念失行



問117【解説】

■ 解答&解説

答:② 見当識障害

1. ×
現実には存在しないことを信じ込む症状ですが、Cさんの症状には当てはまりません。
2. ○
時間や場所、人物についての認識に混乱が生じる障害で、Cさんの症状にぴったり合います。
3. ×
言葉の理解や表現が困難になる症状ですが、Cさんにはそのような症状は記載されていません。
4. ×
計画的に物事を進める能力に障害が生じますが、Cさんにはこのような症状は見られません。
5. ×
物の使い方が分からないことですが、Cさんの症状には該当しません。



問118【解説】

■問題文

娘はCさんの病状を心配して、「お父さんが残してくれた貯金があるから、もっとお母さんのお世話をしてくれる施設に移ろう」と提案した。Cさんは、「ペットと一緒に暮らせなくなるのは嫌だ」とつぶやき、うつむいた。困った娘は健康型有料老人ホームの介護福祉士に相談した。次のうち、娘への介護福祉士の応答として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 「Cさんがペットを大事にしている意思を尊重してはいかがでしょうかですか」
2. 「Cさんが新しい施設に行くことが最優先です」
3. 「あなたの意向を優先してはいかがでしょうかですか」
4. 「Cさんがペットを飼うことは優先度の高いニーズとは言えません」
5. 「Cさんが新しい施設に行くことを受け入れるように説得してください」

■解答&解説

答:①「Cさんがペットを大事にしている意思を尊重してはいかがでしょうかですか」

Cさんは、ペットのオウムを心の支えにしており、それを手放すことに強い抵抗を感じています。介護福祉士は、Cさんの気持ちを尊重し、その上で、様々な選択肢を提示することが重要です。

1. ○
2. ×
3. ×
4. ×
5. ×



問119【解説】

■問題文

Cさんと娘は介護福祉士と相談し、希望に沿った施設を見つけることができた。
次のうち、Cさんが入所する施設として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 経過的軽費老人ホーム(B型)
2. 介護医療院
3. 介護老人保健施設
4. 養護老人ホーム
5. 介護付有料老人ホーム

■解答&解説

答:⑤ 介護付有料老人ホーム

1. ×
主に自立した高齢者を対象とした施設です。
2. ×
医療的なケアが必要な高齢者向けで、Cさんには過剰なケアとなる可能性があります。
3. ×
介護が必要な高齢者向けの施設で、リハビリに重点を置いていますが、認知症ケアにはやや不向きな場合があります。
4. ×
生活支援が中心の施設で、医療や介護が手厚くはありません。認知症の進行がある場合には不向きです。
5. ○
介護が必要な高齢者向けで、認知症にも対応しており、中にはペットと一緒に暮らせる可能性がある施設です。



問120【解説】

■問題文

次の事例を読んで、問題120から問題122までについて答えなさい。

【事例】

Dさん（男性、障害支援区分4）は、ベッカー型筋ジストロフィーである。自宅で家族と生活している。Dさんは、食事は自立しているが、排泄・入浴に介護が必要である。歩行はできず、移動は電動車いすを使用している。絵を描くことが趣味であり、日中は創作活動に取り組んでいる。

これまでDさんは自宅で家族の介護を受けながら生活してきたが、Dさんの身体機能の低下に伴い、家族の介護負担が増えたため、居宅介護を利用することになった。

Dさんの疾患で生じる病態として、**適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 筋繊維の変性
2. 運動神経の変性
3. 網膜の変性
4. 自己免疫の低下
5. 脳細胞の変性

■解答＆解説

答:① 筋繊維の変性

1. ○
ベッカー型筋ジストロフィーでは、筋繊維が変性して筋力が低下します。
2. ×
運動神経自体の変性はこの疾患における特徴ではありません。
3. ×
ベッカー型筋ジストロフィーには網膜の変性は関与しません。
4. ×
ベッカー型筋ジストロフィーは自己免疫疾患ではなく、筋肉の疾患です。
5. ×
ベッカー型筋ジストロフィーは脳の細胞に直接影響を与える疾患ではありません。

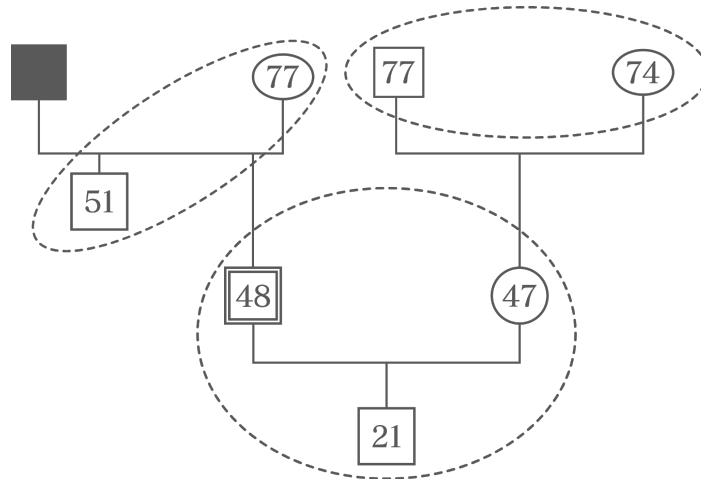


問121【解説】

■問題文

E居宅介護事業所に勤務するF介護福祉職は、Dさん宅を初回訪問するにあたりフェイスシートのジェノグラムを確認した。

以下のジェノグラムからF介護福祉職が把握した内容として、**適切なもの**を1つ選びなさい。



1. Dさんは、Dさんの母親と同居している。
2. Dさんには息子がいる。
3. Dさんの兄は結婚している。
4. Dさんの父親は生存している。
5. Dさんの妻には兄弟姉妹がいる。

■解答＆解説

答:② Dさんには息子がいる。

ジェノグラムの基本として□は男性、○は女性で現わします。そして、ジェノグラムの本人を現すときは「二重マーク」を使用します。そのため、本人は48と書かれている□となり、結婚をしていて息子がいることが分かります。

1. ×
2. ○
3. ×
4. ×
5. ×



問122【解説】

■問題文

Dさんが居宅介護を利用してから数年が経過し、Dさんの身体機能は徐々に低下して、着替えに時間がかかるようになった。Dさんは自分のことはできるだけ自分で行いたいという思いがあり、時間がかかっても自分で着替えをしていた。ある日、DさんはF介護福祉職に、「着替えをすると疲れてしまい、絵を描くことができない」とつぶやいた。F介護福祉職は、「着替えは私たちや家族の介護を利用して、Dさんは好きな絵を描いたらいいのではないですか」と伝えた。その後、Dさんは介護福祉職と家族の介護を利用して、短時間で着替えを済ませ、絵を描くことに専念できるようになった。

F介護福祉職が発言した自立観を示した人物として、**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. ヴィクトール・ فرانクル (Frankl, V.)
2. バンク・ミケルセン (Bank-Mikkelsen, N.)
3. エド・ロバーツ (Roberts, E.)
4. フェリックス・バイステック (Biestek, F.)
5. ミルトン・メイヤロフ (Mayeroff, M.)

■解答&解説

答:③ 移動支援

1. ×
フランクルは、意味を見出すことに重きを置いた心理学者であり、支援を通じて自立を促す考え方ではありません。
2. ×
バンク・ミケルセンは、障害者福祉における社会的支援の重要性を説いた人物です。
3. ○
ロバーツは、障害を持つ人々の自立支援と自己決定の尊重を強調しており、F介護福祉職の発言がその理念に沿っています。
4. ×
バイステックはソーシャルワークの倫理に関する考えを提唱しましたが、自立支援の視点ではロバーツがより適切です。
5. ×
メイヤロフは、ケアの理論に重点を置いた人物であり、自立支援に関する具体的な発言ではないため、F介護福祉職の発言には一致しません。



問123【解説】

■ 問題文

(総合問題4)

次の事例を読んで、問題123から問題125までについて答えなさい。

[事例]

Gさん(38歳、女性)は、母親(65歳)と暮らしていた。両側性感音難聴(sensorineural hearing loss)があり、雑音がある場所では話を聞き取りにくい。相手の口の動きや表情から会話の内容を理解することはできる。Gさんは、脳梗塞(cerebral infarction)を発症し、左片麻痺で車いすの生活となり、障害支援区分4と認定された。母親による介護が難しくなったため、障害者支援施設に入所することになった。

Gさんは、写真を撮ることが好きで、施設で近くの公園に出かけたときに、介護福祉職に手伝ってもらいながら好きな風景を撮影している。Gさんは、その写真をアルバムにして、母親にプレゼントしたいと考えている。

ある日、Gさんから、「アルバムを作りたい。飾りの付け方やメッセージの書き方を教えてほしい」と相談があった。介護福祉職は、Gさんとアルバムを作ることにした。

次のうち、Gさんが施設入所支援と同時に利用している障害福祉サービスとして、適切なものを1つ選びなさい。

1. 自立生活援助
2. 療養介護
3. 短期入所
4. 生活介護
5. 居宅介護



問123【解説】

■ 解答＆解説

答:④ 生活介護

1. ×
自立生活援助は、主に自宅で生活する障害のある人に対して、自立した生活を支援するためのサービスです。
2. ×
療養介護は、医療的なケアが必要な人に提供されるサービスです。
3. ×
短期入所は、介護が必要な人が一時的に施設に入所するサービスです。
4. ○
生活介護は、日常的な生活支援を行うサービスであり、施設に入所しているGさんのニーズに合っています。
5. ×
居宅介護は、自宅で生活している障害のある人を対象としたサービスです。



問124【解説】

■問題文

次のうち、Gさんの難聴の原因となっている損傷部位に該当するものとして**最も適切なもの**を1つ選びなさい。

1. 内耳から聴神経
2. 外耳道から中耳
3. 耳介から中耳
4. 耳介から外耳道
5. 耳介

■解答&解説

答:① 内耳から聴神経

1. ○
内耳(蝸牛)や聴神経に問題が生じると、音の伝達がうまくいかず、感音難聴が起こります。
2. ×
外耳道や中耳に問題がある場合、これは伝音難聴に該当します。
3. ×
耳介や外耳道に損傷がある場合も、伝音難聴の原因になりますが、聴覚神経には問題がないため、感音難聴ではありません。
4. ×
耳介や外耳道に問題がある場合、音が耳に届きにくなりますが、聴神経には影響がないため、伝音難聴になります。
5. ×
耳介自体は音を集める役割を果たしていますが、耳介の問題だけでは難聴の主な原因とはなりません。



問125【解説】

■問題文

次の記述のうち、Gさんに介護福祉職がアルバムの作り方を説明するときに配慮することとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. Gさんの左側に座る。
2. 閉じられた質問を用いる。
3. 小さな声で話す。
4. Gさんの好きな音楽を流す。
5. 1対1で向かい合って話す。

■解答&解説

答:⑤ 1対1で向かい合って話す

1. ×
Gさんが左側に何らかの障害(視覚障害や麻痺など)を持っている場合、この位置は不適切です。
2. ×
閉じられた質問(はい・いいえで答えるような質問)は、Gさんの意見や気持ちを深く引き出すことが難しく、説明を受けるときには開かれた質問の方がより適切です。
3. ×
小さな声で話すと、Gさんが聞き取りにくくなる可能性があります。
4. ×
音楽が流れると集中しづらくなる可能性があり、説明に集中してもらうためには静かな環境が望ましいです。
5. ○
1対1で向かい合って話すことで、視覚的な情報が伝わりやすく、相手が理解しやすくなります。



【執筆者プロフィール】

川崎 英夫

CFC代表(大川学園医療福祉専門学校非常勤講師)

介護福祉士 / 救急救命士 / 健康運動実践指導者 / 介護専任教員

<CFC>

「ケアする人のケア」を活動コンセプトに、介護福祉のプロとして働きたい方に対して「こころ・からだ・知識技術」のコンディションを整えるサポートをしています。

<国家試験対策講座>

2025年度は以下の場所でおこなっています。

○市進ケア教育研究所(埼玉県富士見市、東京都文京区)では3年連続合格率100%の実績！

○むさし介護アカデミー(東京都国分寺市)では合格率92~98%です。

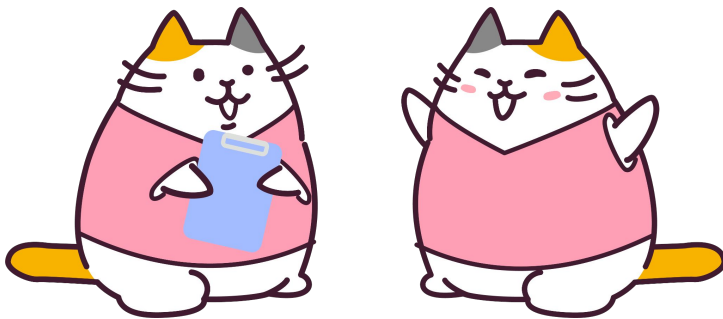
<大川学園医療福祉専門学校>

介護福祉士と柔道整復師を養成している専門学校です。

落ち着いた教育環境で、学生と先生との距離が近い中で実践力を養い、自信をもって利用者や患者に接する力を培うことができます！

ご興味のある方がいましたらお気軽にいらしてください。

ケアきょうスタッフ 一同



2025年解答速報・求人の相談はケアきょう！

Copyright © 2025 Kaigomedia Inc. All Rights Reserved. (無断転載禁止)

